京城日報

朝刊と合せて八頁

本紙定價 一部金二錢 一ヶ月金五十五錢 三ヶ月金壹圓六十錢 六ヶ月金三圓 一ヶ年金六圓 (郵送料は別)
廣告料 國內五號活字一行金七拾錢 同一行金壹圓 特別活字は二倍 六號活字の一行は五號活字の一行
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 谷口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合名會社 京城日報社
電話番號(編輯用) 長二四一・二二 (營業用) 三二六 三〇〇 振替貯金口座京城三〇〇

◎白仁長官朝鮮視察

白仁民政長官は朝鮮大共進會觀覽を兼ね朝鮮方面視察の爲め二十八九日頃出發京城に往く可し著京の上は無論寺內總督山縣政務總監以下を訪問す可しと(大連特電)

◎釜山記者團發會式

釜山 釜山記者團發會式は十七日午後六時より鐵道ホテルに開催會員二十四名來賓は若松釜山府尹、橋本警視其他此度渡鮮の大阪毎日記者菊地幽芳、橋詰せみ郎の兩氏及木下博士臨席し頗る盛會にて午後八時閉會したり

◎李墡公殿下一行

金剛山探勝中なりし李墡公殿下一行は十七日京發丸にて長箭より元山に來著大東館に一泊の上十八日午前元山驛發の列車にて歸京せり(元山特電)

東京發別電

◎靴供給契約

大隈外相は露國政府と毎月軍用靴十萬足を供給する事を無期限にて契約せり

◎天津排日熾烈

天津に於ける支那官民の排日運動頗る熾烈にして在留邦人の追放を期し民心を煽動しつゝあり

◎落合總領事榮轉

奉天總領事落合謙太郎氏は公使に榮轉し大使館三等書記官矢田七太郎氏奉天總領事代理を命ぜられたり

朝鮮大共進會

十三 陳列 道 競べ
□鬱陵島の烏賊十二萬圓 誰にも解る慶北の陳べ方

熱心な見物の間を分けて、全南の向側道勢館內慶北の陳列を見る、西端入口に叺を三俵積んで輸移出順位第一番の札が立てられ

▲『玄米三百萬圓』とある、その叺の一つには同第二番として『大豆三十萬圓』次には第三番として牛の皮二十五萬圓、第四番牛(これは土の模造)二十一萬圓、第五番には鯖を混いて十九萬圓、第六番には繭の荷造りしたもので十六萬圓、第七番は卷煙草で十五萬圓、第八番は果物十四萬八千圓、第九番は鯨十四萬六千圓、第十番雜魚十四萬五千圓、第十一番は柔魚十二萬七千圓と北端まで續く、その裏には今度は赤で輸移入額位第一番として織物を置き六十萬圓と記す、それから第二番雜貨の五十萬圓から絲類の卅一萬圓、鮮魚の二十七萬圓、麥粉の二十五萬圓、乾鹽魚の二十四萬圓、明太魚の廿一萬圓、砂糖の二十萬圓、紙類十五萬五千圓、石油の十四萬五十四圓、酒類の十二萬圓までづゝと列んで居る、誰にも一見して

▲慶北の輸移出入 狀態と產物の一般が解る所は面白い思ひ付きだ、其背後の柱には重要物產出入金額としてその總計たる輸移出金額五百萬圓輸移入金額三百萬圓を現し壁一面に財政、金融、教育、衞生、林業、畜產、蠶業、工業、農業、水產の統計圖表がそれ〲工夫を凝して作つてある、北方の正面全體は油繪に爲つて上が始政當時、下が現況を現したもの、住民の生活狀態から山林、道路、畓、田、畜類、漁業、蠶業、教育、衞生等五年間に於ける

▲進步發達の有樣 を直ちに比較して見られる樣にしたものである、然もその下の棚にはその改良された產物の新舊比較を實物に依つて或は寫眞を藉りて示した所は否應なしに五年間の成績を首肯させられる中でも鬱陵島の柔魚や迎日灣產の鯨の實物、漁業の寫眞、繭、玄米等の新舊、豐基柿の在來の物と內地式に製したもの、鷄、牛の改良種と在來もの、寫眞、陸地綿、大豆、小麥、水稻の實物比較等何れもその間の顯著なる發達を語つてゐる東側には

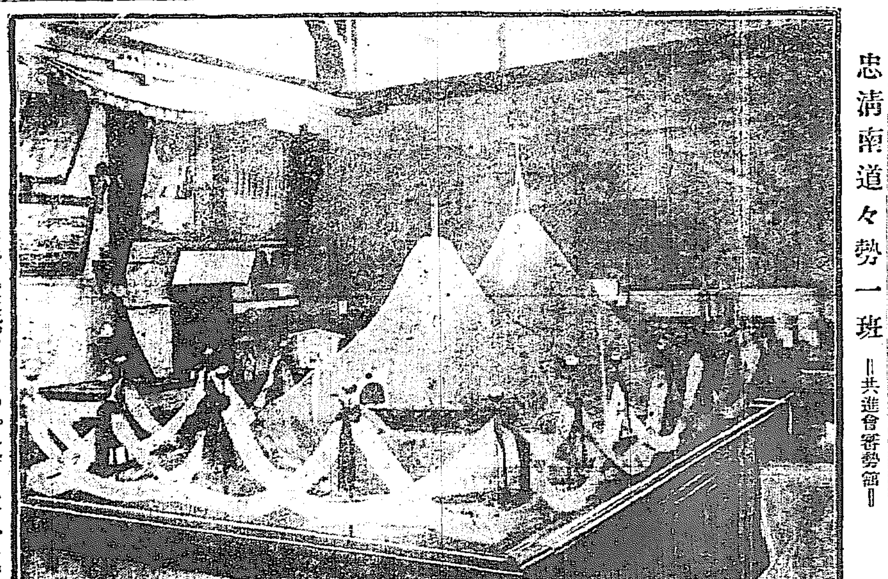
▲改良慶州紙から 安東麻布、尙州紬、莞草席、帽子、眞田、とり〲に道內工業の前途あるを示してゐる、又水稻の日の出、早神力、穀良都、小麥の江島、カリホルニヤ、蔓斷絲、肥の背刈大豆、ルーサン牧草等根から莖全部を標本にしてその如何に優良種なるかを見せたる、地方費、臨時恩賜金の統計、道內區域地圖と並んで

▲氣象圖表を掲げ たる、人口、戶數の增減比較表、地積圖等如何にも新しい陳列が試みられてゐる、

忠清南道々勢一斑 ―共進會道勢館―

氣象五年間の平均で見ると七月が一番雨が多く二月が一番天氣續き、寒いのは一月で暑いのは八月、叉その下には朝鮮人と內地人と外人との人形を立たせその後に各家を一軒宛

▲朝鮮風と內地建 と西洋館と置いて、朝鮮人が四十三年に三十三萬六百四十二戶、百五十六萬三千五百七十九人であつたが大正三年には三十六萬四千八百六十七戶、百八十五萬千五百五十八人に增加したるを、內地人も一萬六百十七人から二萬千五百九十二人に外人も百七十三人から三百五十五人に增加したを簡單に說明してある、尚中央の臺上には精巧な道全體の地理模型を―



▲實習館大盛況

教育實習館は美術館橫手に二十坪の地を劃し京畿道於義洞公立簡易工業學校生徒の建築に係るものにして此に各官公立學校生徒の製作品約三十餘點を出陳し私立善隣商業學校並に仁川公立商業專修學校生徒の商業實驗として教員指導の下に交互販賣せしむるものなるが開會以來非常の盛況にて之れが賣上高は每日少きも三十圓、多きは六十圓に上る狀況なるより生徒は爲めに多大の興味を以て此れに當り其成績頗る良好なりと今賣品中最も賣れ行きよきものを擧ぐれば大體左の如し

京城高等普通學校生徒製作木工及び金工品
全羅北道扶安公立普通學校生徒製作蠟石細工
京畿道龍仁公立普通學校生徒製作眞絲
仁川公立高等女學校生徒手藝品
於義洞公立簡易工業學校生徒眞鍮
京畿道揚智公立普通學校生徒製作眞絲
京城私立淑明女子高等普通學校生徒手藝品
全羅北道全州公立普通學校生徒製作竹細工

▲河野農相來鮮 開會式臨場

農商務大臣河野廣中氏は政府を代表して始政五年記念朝鮮物產共進會に敬意を表し、十月一日擧行の筈なる共進會開會式に臨場式辭を述べ併せて地方を視察す可く愈々來鮮に決せり、入京期は多分九月下旬となる可し

▲團體接待打合會

京城協贊會にては十八日午前十時より慶會樓上に於て各道の出張員及び協贊會員等と會合し地方團體の送迎並に接待に就き打合す所ありたり

▲定例理事會

協贊會にては十八日午後二時より千秋殿に定例理事會を開き開院宮殿下の奉迎及び市中諸賑ひ上の設備に關する件無線電話設置の件其他を附議したり

▲孤兒啞生の見學

濟生院にては收容中の孤兒啞生に實地見學のため孤兒は引率者一名乃至二名の下に二十名以內を一組としたるものを六組啞生は二名の引率者の下に十五名以內のもの一組を各會期中二回宛共進會の觀覽を爲さしむべし

□共進會入場者 十七日(金曜日、晴)

內地人	四千九百十九人
朝鮮人	一萬四百十二人
支那人	二百四十三人
外國人	九十人
無料者	一千四百四十六人
合計	一萬六千二百九十八人

◉步兵聯隊特別射擊

龍山駐屯步兵第三十五聯隊にては十八日同聯隊射擊場に於て特別射擊を擧行する由なるが道廳の特別射擊は例年各師團各步兵聯隊に於て擧行する名譽旗爭奪射擊の代りに擧行するものにて當日は師團司令部より岡本參謀長を始め部員等多數臨場する筈尙各地分遣隊に於ても各個に競爭點射擊を施行の上聯隊へ報告の筈にして下士以下成績の優秀なるものには其れ〲賞品を授與すべしと

◉商議役員會の結果

京城日本人商業會議所にては十七日午後七時より同會議所樓上に役員會を開催し原田會頭、吉原市原の兩特別議員、當業者、商工課長等參集、新商業會議所令施行に伴ふ現商業會議所會員の後任に就き協議する所あり十時散會せしが當日の協議事項に就ては追て鮮人會議所とも照合したる上更に會議を開き方針を決定することゝなりたり

觀覽團消息

▲京城中學校生徒七百二人 十六日共進會觀覽
▲櫻井小學校生徒三百二十二人 同上
▲京城女子高等普通學校生徒百六十五人 同上
▲同普成初等學校生徒百八十四人 同上
▲京城崇正學校生徒百八人 同上
▲忠州公立普通學校生徒二十三人 十七日入京
▲仁川支那人學校生徒三十二人 十八日入京第一樓に投宿
▲果川公立普通學校生徒二十二人 同日入京
▲高陽郡芝山小學校生徒六十人 同上
▲長湍郡五十九人 十七日入京
▲長津郡二十四人 同上
▲益山郡二百六十四人 同上
▲忠州郡百六十五人 同上
▲大同郡六十五人 十八日入京
▲始興郡北面六百六十一人 十六日共進會觀覽
▲定平郡百五十五人 同上
▲黃州郡二十九人 同上
▲始興郡二百四十人 同上

◉立花總長嚴父容態

立花警務總長が嚴父病氣の報に接し十六日夜東上せるに就きては種々問ひ合せの向あるが嚴父の容態は輕からざること勿論なれども目下危篤といふ程にはあらざるも何分八十有餘の高齡とて總長は電報に接すると共に急遽東上せる次第なりと

人事消息

▲三宅驥一氏(理學博士) は十六日午後新義州にて內地へ
▲松原權四郎氏(山口縣警察部長) は同上
▲宮本政次郎氏(帝國麥酒重役) は十六日午後發被丸にて上陸す
▲三原新三氏(木浦稻苗場技師) 十七日入京鮮尾旅館へ投宿
▲長谷川虎氏(江界憲兵分隊長) 十七日入京山本旅館へ投宿
▲永田春明氏(咸北憲兵隊長) 入京中の處十七日元山へ
▲根津捨三氏(水利組合技師) 同大邱へ
▲ニボツスキー氏(露國實業家) 十七日入京朝鮮ホテルへ投宿
▲釘本藤次郎氏 母堂逝去の爲め郷里へ歸省中の處十九日夜歸京の筈
▲李墡公殿下 十八日午後五時二十三分南大門驛著歸京
▲平井桃水氏(小說家) 十九日朝入京
▲鈴木穆氏(土地調査局長) 十九日朝東上の筈

南言北語

獨軍はドゥキンスク、ウイルナの鐵道線を切斷せんと却々努力して居るらしい▲露軍も必死だ此の線をやられては堪らぬ叉々總退却の止むを得ぬ事になるからなア▲北方リガも全く露軍が支配して居ると先達云つて來たのにヒンデンブル將軍が露都に通ずる鐵道を橫斷せば同市は自然重圍に陷るから頗る危險なとは心細い事だ▲處がガリシアの露軍は非常に捷つたとある其處で先づ此の露獨戰線は兩軍一勝一敗と見て未だ大した發展はなかり相な分に出來れば今迄の樣には行かぬ▲伊軍がトレンチノは最ふ袋中の鼠だと云つた事は一箇月餘も前の事だが其後容易にはトレンチノで何の音沙汰なしだつたが墺軍の力で捨てたらしい▲伊國が起てば戰局に大影響があるなんて大分人騷せをしたが此向では何だか頓と譯が分らぬ▲譯が分らぬと云へば米獨關係だ今度もお人よしの米國は譯なく濟ますらしい一度は氣安め二度は嘘言三度のよもやの手に乘りよると飛でもない事になるのは受合だ▲共進會も逐日盛況を呈して來る殊に構內の審勢館を見る時は衷心愉快に堪へない▲始政五年間の朝鮮產業を實地に見ると內鮮人を問はず其の進步には驚くのだらう苟も共進會觀察に來た人は此館を能く見て貰ひたい▲否之れで實際朝鮮產業の現狀を知る事が出來るからね▲共進會を一瞥すると朝鮮の產業を二大別する事が出來る即ち中央以南は米で以北は鑛物である▲之でも朝鮮は有望でないと云ふ人があらうか

將發京城題壁 熊谷鐵城
江湖十載半風流。月色蟲聲叉入秋。此去漢陽身猶客。京城即我小并州。無佛陳人
天涯無地不風流。山脚水村堪賞秋。隨處人間存樂土。低回休唱古并州。

第六十三回 勸業債券(拾圓券)賣出

◎總額 四百萬圓 利子年五分(每年一月拂)
◎賣出 九月十六日より同月三十日迄 當銀行、各地代理店、取扱店並に郵便局にて
◎くじびき 初回は來る十二月 以後五箇年間は年三回、其後は年二回
◎割增金 最初五箇年間の抽籤には割增金總り

等級	金額	初回	二回以後
一等	貳千圓	十二本	四本
二等	百圓	二百八十本	二十八本
三等	十圓	四百二十八本	百八十八本
四等	五圓	四百八十本	九百八十本
計		一千二百本	一千二百本

大正四年九月
東京市麴町區內山下町一丁目一番地
日本勸業銀行 (振替貯金口座東京第四〇〇番)

最新刊 南洋研究之一 蘭領東印度

寺內伯爵閣下題字 後藤男爵閣下題詩 阪谷男爵閣下序 法學士中山成太郎先生著
菊判上製全一冊 紙數四百八十餘頁並に寫眞二十餘葉挿入 正價貳圓五拾錢
帝國臣民發展の好望地域の指針たる南洋に關する研究の最好資料たる本書出づ 本日發賣
東京神田區 有斐閣 發行

大典奉祝旗

意匠登錄第一一三七〇號
日章旗 金鵄旗 八咫烏旗 萬歲
中央圓周內に『大典奉祝』の文字を現はし四隅に國家鎭護皇城守護の表象たる靑龍、朱雀、白虎、玄武の四像を配したる由緒深きものにして日章旗と交叉すれば配合最も妙
□發賣は直賣卸共に專ら引受候
□大典奉祝旗並に校旗、優勝旗色刷目錄御申越次第進呈仕候

	寸法 曲尺	大典奉祝旗 一枚	日章旗 一枚
モスリン	25×38	80錢	55錢
モスリン	37×52	2.10	1.30
新モス	25×35	45	17
新モス	37×52	1.10	38

東京日本橋 白木屋吳服店 振替口座東京九八番

大共進会

全國金物業者大會

第三回全國金物商聯合大會は十八日午前十時より京城ホテルに於て開會せり本會を開く前に當り委員會を開會して京城、金谷、商同業組合より提出せる

一、全國金物商聯合會設立案
二、朝鮮鐵道運賃低減に關する申請案

の二案を附議し一議異議なく之れを採擇し總會の議案として提出のことに決定委員會を終り正午煙竹の合圖にて開會式に移りたり

全國金物業者大會記念撮影

開會式は釘本委員長不在のため其代理者開會の辭を述べ佐野彦藏氏亦釘本氏に代つて本會開會の挨拶をなし續いて原田金之祐氏は名譽會長として來賓並に出席者一同に對し挨拶をなせり

▲總督祝辭の代讀 次で宇佐美內務部長官は寺內總督の祝辭を代讀し來賓側よりは佐渡島伊兵衛(大阪)富原研三(釜山)其他數氏の祝辭朗讀あり之れに對し全國金物聯合大會委員總代として志岐組商業部小田榮氏一同を代表し答辭を述べ開會式を終了す次に場外にて記念の撮影を爲し食堂を開始す宴デザートコースに入る頃原田會長は立つて總督代理宇佐美長官並に其他來賓の健康を祝し宇佐美長官亦之れに答へて金物聯合大會の成功を祈るとて各自乾盃し一時半茲に全く式を終れり當日の出席者は總督代理宇佐美長官を始め檜垣長官、金谷府尹、新聞通信記者等の各長、來賓及び大會出席者約九十名にして頗る盛會なりき

▲總會と日程 同大會は同日午後二時より總會を開き京城の同業組合其他各地の組合より提出せる議案に就き議事を開きたり午後六時よりは花月に於て懇親會を開き席上記念品の贈呈等あり大會の第一日を終る筈なるが第二日以降の日程は多少變更したるを以て再錄すべし

第二日(十九日)午前九時商業會議所集合直ちに共進會觀覽正午慶會樓にて午餐午後演藝館觀覽
第三日(二十日)午前八時三十分南大門驛集合同五十分仁川行列車乘、仁川遊覽正午同所同業組合招待會に出席
第四日(廿一日)午前自由行動午後パゴダ公園秘苑拜觀

共進會東拓特設館は十八日より夜間開場

休憩所巡り

(一)痛み入る御挨拶

涼しくなつた、秋だ、と朝夕には羽織を引掛ける程の氣候ながら、共進會が始つてからは、何んと云ふ芽出度いとか知らぬけれど、毎日〳〵の上天氣に、廣い廣い共進會場を見物してお廻り遊すと汗がジク〳〵と滲み出します、足も倦くなります、眼も疲れます、だが有難いかなだ、何處までも至れり盡せりの會場內には

▼各道の協贊會 で設けた休憩所が十二もあつて各地方の團體客はもとより一般の御客樣にも自由勝手に御休みを願ふと云ふ趣向、こゝに吾輩は御案內旁休憩所訪問にと御出發――人波を潜つて光化門の正門からお入場遊ばすと直に協贊會場の方へ、東拓館の側を拔けて第一番道のおみ足を御運び遊したのが全羅北道の休憩所で御座る、家根は天幕に卍の字を出し、紫の幔幕引き廻した正方形の建物の中に入ると、全州から態々出張下されたる二人の美人が丁寧に御導き下さる、中央の大卓子の上には大花瓶に紅黃白紫の草花美しう投げ差しにして

▼二三種の新聞 まで用意されてゐる『粗茶召し上れ』とおせん迄添へての御接待痛み入るの外ないとベンチに腰をお落し遊すと『お何か出來る』と嚴しい聲、振り返ると一紳士がツカ〳〵と卓子の前に腰掛ける、全北の休憩所と聞いて聊か的はづれの態よろしく退場『時々料理屋と間違へられるので御坐いますよ』と接待の美人の御述懷『明日からは觀光團が來て忙しくなりますからもう間違つて來る人もありますまい』と年嵩の方の美人の說明、直ぐ隣のかぎ型に建てられた京畿道の休憩所は靑の家根、桃の腰板綺麗に室內には

▼紅葉の葉なぞ 飾り立てゝある、今日は始興郡の大々觀光團御入京とあつて足の踏み入れる所もない雜沓いや大賑ひ、十數の机腰掛に一杯の客が茶を召す、辨當をお使ひ遊さる忙しさよ、爲めに辟易した吾輩は茶一つと圖々しくも出でかねてお退り、郵便局向ふの全南休憩所へと――

京仁臨時列車

鐵道局では仁川入港中の艦隊員が京城見物の便宜を計つて十九日より二十二日迄左の通り臨時列車を運轉す

仁川發 午前七時五十分
仁川着 午後五時
南大門着 午前九時
南大門發 午後三時五十分

軍艦觀覽

第二艦隊、鹿島、三笠、周防、肥前の四艦は第九驅逐艇隊四隻並に初霜如月の二水雷艇を率ゐて豫定の通り十八日午後仁川に入港せり、碇泊中は支障あらざる限り毎日午前八時より午後五時まで各艦とも一般の觀覽を許すことゝなれり

第二艦隊入港す

名和中將の率ゆる第二艦隊鹿島、三笠、肥前、周防の四艦、響、白雪、松風、野分の四驅逐艦、初霜、如月の二水雷艇は豫定の通り十八日午後二時威風堂々舳艫相啣んで仁川港に入港せり入港と同時久水府尹、櫻井稅關長、平田觀測所長、市橋郵便局長、松元署長其他民間有志は直ちに旗艦を訪問し司令長官に敬意を表せり(仁川電話)

賣約は廿日過

共進會場各種陳列品の賣約は物品整理の都合上九月二十日過ぎになるだらうとの事です

無料入場の特典

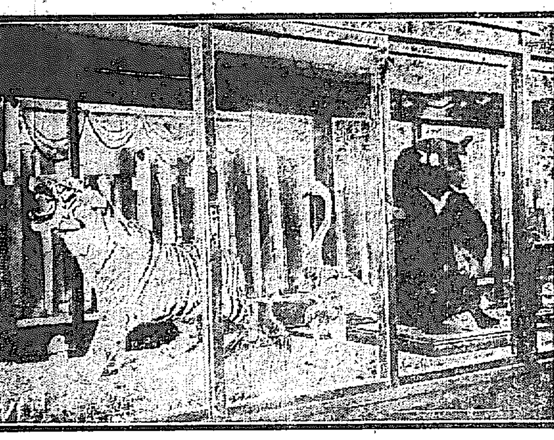
協贊會の名譽會員、特別會員、有功會員及び有功會員であつて所定の徽章を佩用される方は共進會開場時間中なら何時でも無料で共進會場に出入することが出來ますから前記の會員は用捨なく入場されるがよろしい

○敎育人形芝居さかと云ふのは桃太郎の生ひ立ちから鬼ケ島征伐、舌切り雀等で人形を天井から吊つて操るのだが手も足も首も胴も自由自在に動いて人間の動作と少しも變らぬ、其外
○心地よいピヤノの音に氣を引かされて不圖不思議館に入つて見た、舞臺は例の如く薄暗い一寸見た所でも幽靈の出さうな飾り付け芝居もあれば恐ろしい化物屋敷もある
○此館の呼物として居るのはエッキス光線に照らすと睨せられ居るバレーションで光線化學の作用で洋服の美人は石像となり石像は次第に骸骨と變ずると云ふ圖で之れが所謂化學應用の演藝と云ふのださうだ
○不思議館の次の矢野動物園で朝から晩まで鳴いて居る、虎、猿、豹、大蛇、鷲など大小數十の動物が檻の中に入れられて陳列されて居る
○この虎は却々能く手なづけてあつて飼手の自由自在になつて居るのが先づ此動物園の見物であらう、動物を見終つて横手に出ると活動寫眞になつて居て最初入場料十錢はこゝまで有効で共進活動寫眞を見て歸へる
○混雜の中から是方はないが江原道の山奥から出て來た、鮮人の見物が迂路々々して居ると『ヨボは彼方へ行くんだ』と突き飛ばす樣にして居た小屋の若者があつた
○こゝ許りではないが這麼不愉快な言葉を聞いたのは一切でない、警戒の巡査でも憲兵でも言葉を丁寧に親切にせよと云はれて居るのだから興行物の中では別して大切なお客だから一層愼まなければならぬ事だと思つた

獵期來る

朝鮮は狩獵家の天國 盛に山野を馳驅せよ

透明な秋の大氣の澄める山野にポーン〳〵と銃聲の響く獵期が來た、咸北咸南平安南北の四道は既に九月十五日から始まつたが京畿道始め南鮮地方は十月一日から開始される、由來朝鮮の山野が銃獵家の天國であるといふ事は廣く世間に知られて居るが一獵期の稅金は僅々七圓に過ぎぬから今年は共進會見物を兼ねて渡鮮する遊獵家が多からう、朝鮮には虎、豹、熊、野猪、鹿、獐、羚羊、狸、狐等の獸類は素より鳥類には雉子、白鳥、雁、鴨、鴫等が到る處に群集して居る、殊に良い獵犬でもあれば京城附近の山でも面白い雉獵が能きる、獵期の初めは京城附近では京仁線素砂附近の鴫獵が面白く十月下旬から十二月の結氷期までは雁鴨等の水禽も無數に獲れる、京釜京義沿線は從來隨分荒されて居るけれ共其れでもまだ好獵場が尠くないが新しい京元線の雉獵は實に夥しい獲物がある、又雁の類は遠き西比利亞沿海州より南下する順路は露領豆滿江方面から圖們江を越えて咸鏡南北道の海岸を飛び更に江原道に沿うて群集するので此の沿道は九月初旬から夥しい獲物がある、又猛獸狩は主として咸鏡南北道地方が本場であるが共進會第一號館の陳列にあるお馴染の猛虎、熊、豹なども此の地方で多く獲れる、又江原道や金剛山には羚羊も居るから朝鮮全土何處に行つても充分面白い銃獵が能きる、京城では小宮李王職次官、三島鮮銀理事、和田病院長、和田參事、瀧川銃砲店主等の銃獵家が居るが銃は主にボネヒル、グリーナ式の二連十二番が用ゐられて居る



朝鮮産の猛獸――共進會第一號館狩獵部陳列――

無線電話設置

協贊會にては今回遞信局より無線電話機二個を借用し會場內適當の距離の間に設置し局員も出張の上一定の料金を徵し一般の觀覽を許し且つ使用を爲さしむる由にて十八日の理事會に於て之が決定を見たる上は數日中に設置する豫定の筈なるが今日の所諸種の施設は多く餘興にのみに限られたるに無線電信の如く科學的施設を見たるは觀覽者の利益多大なるべし

本場 ちゞぬ銘仙 新荷着 京城本町二 ちよぶや 電話八九〇番 振替三〇二番

灯の海に浮び出た龍宮城

家庭博覽會夜間開場の美觀

家庭博覽會の夜間開場は愈々今夜からです、どちらを向いても電燈、提灯の明るい灯が輝き燦めいてゐる、太平通りの突當りに灯の海に浮み出た龍宮城の樣な家庭博覽會場は夜間開場と共に尙一層その光彩を添へます、場內各館並に各參考室には隅から隅まで電燈が點ぜられて晝の明るさと些しも異らないのみならず、夜間は電燈の光りによつて參考室の人形などは却つて肉色衣裳共に極く自然に美しく見ゐる位です、會場は各館共陳列の模樣替をしたり新な出品があつたり大分目先きが替つて居ります、運動場には中央に二千燭光の大孤燈を立て、場內を隈なく照らすので晝を欺むくばかりの盛觀を現はします、正門上の自動オーケストラは閉場まで寸刻の休みもなく種々なる和洋樂を奏して居ります、共進會の夜間にお出での方は是非共家庭博の此の夜間會場へお立寄り下さる事を希望いたします。

▲家庭博の運動場は子供にとつては全くの樂園で巖谷小波のお叔父さんが御得意のお伽噺から編み出したデン〳〵太鼓やカチカチ山は先づ何より子供の御意に召す▲カチカチ山一名滑べり山は手摺がついてはゐるけれども、初めての者では中々難かしい、間わけもなく呼吸も何も合はずに危かり捉まつてゐなければならぬが、馴れてくると手放して滑べれる、二三度やつてゐるうちに面白くなつてくると見えて暑いのに朝から晩まで滑べつてゐる子供がある、滑べり板も大へん滑らかになつてツル〳〵してゐる▲デン〳〵太鼓は極く簡單な樣だがこれも仲々難かしい、首振法に神を捻ぢつたのではうまく鳴らない、調子に乘つてくると『トン〳〵』といふ音がする▲運動場唯一の愛嬌者で又氣轉かし屋のお猿の安さんはカチカチ山の前に小さな鏡を持つて鼻を撫でたり、目を細くしたり、如何にも不思議さうに一日昇り過ぎしてゐるが運動場に來た其日の事、來賓休憩室の中に繫いで置いた、丁度その時お客があつて休憩室の給仕女がお茶を運んで來てお客の前へ出さうとすると後から伸上つて袖を曳く▲給仕女はそれでも知らん顏をしてお茶を出して退ぞかうと後ろを振向く途端、先刻から袖を曳くのに相手にならなかつたので中腹になつた安さん突然飛びついて顏を引搔いたので給仕女はお茶碗も放擲て逃げ出した▲今では鎖で固く繫いであるので大丈夫だが年をとつてる安さんはそれだけ人間近いのだがお尻と顏は矢張り赤である

家庭博覽會

日曜は風船飛揚

十九日の日曜日には午後一時頃から家庭博覽會の餘興として正門上から商杉胖油店の景品付風船數百個の飛揚があります

敎會堂下嫉妬の女房殺し

仁川外里フランス敎會堂下に於て九月十七日午後八時五十分男が二十女を殺害せんとせる事件起れり被害者は仁川海岸通り三丁目吉田きく方に女中奉公せる有松とな(二七)加害者は仁川海岸繫留漁舟々頭神田熊次郎(三三)にて被害者とは數年前より群山に於て醜業を稼業せしが四十四年加害者は二百圓にて受出し爾來舟の中に共稼しせしもとなは河上生活を好まざる爲め昨年頃よりとなを前記の處に置きたるものなるが近來他に情夫來たるを感付き十七日夜神田はとなを引き出しフランス敎會堂下まで引摺行き頭髮を摑み大石に打付け〳〵顏面に打撲傷を負はしめ尙も絞殺せんとせる處を急報により驅付けたる警官に取押へられたり被害者は仁川病院に舁ぎ込まれ蟲の息

●有樂館落成祝賀會

京城ホテル中原鐵臣氏經營の高等演藝場有樂館にては十九日午後五時より新築落成祝賀會を催し同所に園遊會を開き朝野の有志二千餘名を招待し種々の餘興を供覽する由

●公論藝妓投票締切

朝鮮公論の全鮮藝妓人氣投票は愈々十九日を以て締切をなす由主なる賞品は本町三越に陳列しあり

給仕採用

給仕二名至急採用す希望者は本人直接來社すべし

京城日報社編輯局

公告

京城地方法院

左ノ不動産ヲ左記ノ日時ニ於テ競賣ニ附ス競賣保證金ハ申出額ノ十分ノ一

●京城府玉仁洞八十三番地
一 垈二十四坪 最低競賣價額金四十二圓也
一 同地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪六坪九勺五才 最低競賣價額金八圓也
右競賣申立人 金昌基 不動産所有者 長沙洞五十一番地 翟豊燁

●京城府 垈四十坪 最低競賣價額金二百八十圓也
同地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 最低競賣價額金百五十一圓也
右競賣申立人 金在成 不動産所有者 苑洞七番地 林慶珠

●京城府 垈百四十九坪 最低競賣價額金八十九圓四十錢也
同地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪六坪九勺七才 最低競賣價額金十二圓十九錢四厘也
右競賣申立人 金亨植 不動産所有者 榛接面峰峴里字六三ノ一 申錫振

●揚州郡 畓七百十坪 最低競賣價額金四十三圓也
同所 畓二百三十八坪 最低競賣價額金十一圓也
同所 畓六百九十坪 最低競賣價額金二圓九十錢也
同所 田四百八十四坪七合五勺 最低競賣價額金三十二圓也
同所 田六百九十坪 最低競賣價額金十四圓也
同所 田二千三百九十四坪九合五勺
右競賣申立人 金寶東 不動産所有者 光熙町二丁目百四十六番地 鄭元號

●京城府 垈三十坪 最低競賣價額金三十六圓也
同地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪八坪二合六勺 最低競賣價額金十八圓五十錢也
右競賣申立人 孫李珠 不動産所有者 縣府洞七番地 土本金之助

●京城府 垈二十五坪 最低競賣價額金六十二圓五十錢也
同地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪十四坪三合七勺六才 最低競賣價額金二百二十五圓也
●京城府 垈六坪 最低競賣價額金二十一圓也
同地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪四坪 樓下洞二百二十一番地
●京城府 垈十坪 最低競賣價額金十五圓也
同地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪六坪六合一勺三才 最低競賣價額金一圓也
右競賣申立人 金文有 不動産所有者 雲洞百二十五番地 金鎬成

●京城府 垈十九坪 最低競賣價額金四十二圓也
同地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪六坪八合八勺 最低競賣價額金十九圓也
右競賣申立人 朴文鍾 不動産所有者 鍾路五丁目四十一番地 金鎬雲

●京城府 垈二十坪 最低競賣價額金四十圓也
同地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪八合九勺五才 最低競賣價額金十九圓七十錢也
右競賣申立人 卞孟基 不動産所有者 唐珠洞百二十二番地 卞宅善

●京城府 垈三十二坪 最低競賣價額金百四十四圓也
同地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪二合六勺五才
附屬建物 木造草葺平家建本家一棟 建坪七合九勺五才 最低競賣價額金七十七圓五十錢也
右競賣申立人 李仁榮 不動産所有者 劉玩鍾

●高陽郡漢芝面大漢江里第二回二番地

右競賣期日 大正四年九月廿日午前十時

碧蹄館保存會寄附者御芳名(第七回)

金一圓 安淳煥殿
金一圓 白完泰殿
金一圓 金溶基殿
金一圓 白寅集殿
金一圓 金用根殿
金一圓 皮元根殿
金一圓 朱聖澤殿
金一圓 趙柔淑殿
金一圓 李乗源殿
金一圓 孫昌源殿
金一圓 高應郎殿
金三圓五十錢 岡部清次郎殿
金一圓 増田辻平外六名殿
金三圓 京城監獄職員一同殿
金一圓 李允儀殿
金一圓 慶成浩殿
金一圓 李聖儀殿
金一圓 高濟金殿
金二圓五十錢 吳有根外四名殿
金五圓 侯爵 李載完殿
金五圓 侯爵 李丙鶯殿
金四圓 子爵 閔泳興殿
金三圓 子爵 閔重韶殿
金二圓 子爵 權永顯殿
金二圓 子爵 高九奎殿
金二圓 子爵 金泳植殿
金二圓 子爵 閔聲奎殿
金二圓 子爵 金埼根殿
金二圓 子爵 李海鎔殿
金二圓 子爵 李周昌殿
金一圓 侯爵 鄭鳳永殿
金一圓 男爵 李種儀殿
金一圓 男爵 閔思默殿
金二圓 男爵 金載濟殿
金二圓 男爵 李商克殿
金二圓 男爵 閔昌鎬殿
金二圓 男爵 韓善洙殿
金二圓 子爵 任穀準殿
金二圓 子爵 李鮫寬殿
金二圓 男爵 成允運殿
金一圓 男爵 李斗用殿
白鉉殿

計金七十七圓也
累計金五百十二圓十錢也

大正四年九月十七日
碧蹄館保存會長 徐相勉

日清生命保險株式會社 社長 中野武營 專務取締役 池田龍一 東京丸の內

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も迅速に最も廉價に可致候 京城日報社寫眞製版部

鑛山用 水銀 新荷着 保稅品有 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話長四五番二七七四番

說教と講話

九月二十日 舊八月十二日

天氣 晴れ後曇り

家庭博覽會の夜會 今夜から開場

●赤米乎餓米乎 米質改良上の急務

平南産米に赤米の混入多く爲に聲價を失墜すること多大なるは別項記載の如し、昨年平原中和江西龍岡より集めたる標本を勸業模範場武田技師が鑑定の結果赤米に非ずして所謂『ゑび米也』との斷定を下したり、云ふ迄もなく餓米は飯に炊いて臭氣あり且つ一粒の餓米はよく十數粒に著色するを以つて需要者の嫌忌甚だしく一掴の中に一粒混らば石に付四五十錢の下値に買せられ曾つて全南に於ては内地需要者の惡評に堪へず關事當事者は勿論商人亦之れが除去に努めたる結果昨今にては著しく減少せる模樣なるが平南の赤米と稱するものが兩者何れに屬するや目下道種苗場に於て栽培研究中なるが何れにせよ其除去は平南米の品位を保つ上に於て最も急務なるべしと

暑は豫想外だ 別府八百吉

南まはり

玄界灘の波は眠れる如に穩かで月は晴れ渡つた秋の夜の空に懸つて居た明けて十八日の午前八時予の便乘せる因幡丸は琉球諸島に沿ひ南日本海の渺茫たる中を臺灣に向つて居る流石に日射強く暑さは豫想外に酷い(十八日午前八時航行中の因幡丸無線電信發電)

●稻穗撰勵行

由來朝鮮米には砂石、籾、稗等多くして聲價を損ずるのみならず赤米夥多にして精白上の損失尠からず殊に平南産は赤米の混肴甚だしき惡評あり爲に價格を低下すること一層大なるを以て客年秋季總督府の通牒に基き平南道廳より各府郡に對し赤米除去の目的を以て在來稻の穗撰を奬め各農家をして千五百本以上の穗を撰擇して原種子とし本春之を播種挿秧して『在來稻採種區』とせしも昨年は奬勵の趣旨普及し難かりし爲豫定の實行を見るを得ざりしかば本年は特に各面に職員を派し克く指導教示して極力之れが勵行を圖り以て産米の改善を期すべしと

●咸南風雨被害

咸鏡南道にては過般の暴風雨にて各地共著しき損害を蒙りたるが西湖津近海にては出漁せる漁船の遭難せるもの多數あり漁夫二名溺死し新浦附近にては浸水家屋多數にして半潰家屋二十戸に達し軍用桟橋の一部分破壞せり、北青郡は甲山街道里居面より泥谷面に至る間に於て橋梁流失せるもの六箇所、道路の浸水二十町に及び一時交通杜絶せり又南大川堤水の爲め田畑の被害甚だしく損害未だ詳ならず、新昌里は南大川氾濫し浸水家屋五十戸に及び居山北青方面は今尚ほ交通杜絶し居れり

朝鮮女學生の家庭博觀覽

●全州衛生組合改設

衛生組合規則發布と同時に以前の設立に係る全州衛生消防方面に渉る組合を解體し之を別箇の組織に變し更らに改めて衛生組合を組織すべく去る十一日全北公會堂に於て官民多數集合の上衛生組合規約の協定を遂げ組合長の選擧に移り前組合長君塚鐵三郎氏は再任を請ふもの多かりしも同氏再任を固辭せる結果東亞分工場長の外山石英氏を推して組合長と爲すことに衆望一致を以て迎へたるより同氏は謙讓的一場の挨拶を爲し承認の意を述べ愈々組合の成立を告げたり

農産	三二、四八〇、六一七圓
畜産	二九二、七九二圓
工産	一、五四三、〇〇〇圓
水産	五二七、八七六圓
林産	三、五五五、七一五圓

●東亞と家庭博 空袋ご入場券引換

東亞煙草會社にては朝鮮全道に亘り即時引換景品大賣出を爲しつゝあるが今回兩切紙卷煙草ダリヤ空袋十個と家庭博覽會半額入場券一枚とを引換へる事となせると同時に景品賣出の三等當籤者に對しても半額入場券を贈る事となせり、右半額券は軍人學生子供ならば一枚、大人ならば二枚にて本社の家庭博覽會に入場し得るものなれば愛煙家は無料にて評判の家庭博を見物し得べし

消毒は防臭 ノイセン

石窟庵開眼 人夫一萬四千二百人 工費二萬二千七百圓

去る十五日午前十時慶州石窟庵に於て是が改築落成開眼式を擧行せり臨席者李慶北長官代理、入澤第一部長、國枝技師、梅慶州守備隊長、小野判事代理、跡部書記、高杉警察署長、渡邊總督府書記、飯島技手、高内、木村、樋口道書記、梁慶州郡守、戸田郡書記、阿部朝民支局主任、上田本社慶北支局長、布小平其他の有志五十餘名把溪寺住職導師の下に嚴肅なる擧式ありたるが式順は開式、敬禮、誦咒、進供、讀祝、普禮、入相禮、上祝、章、辭、客辭、結合等にして式終るや庭前に立食の饗及び餅撒あり附近地方よりの參詣の爲め群集せしもの無慮三百餘名頗る盛會を極めたり今飯島技手が朗讀せし工事報告は左の如し

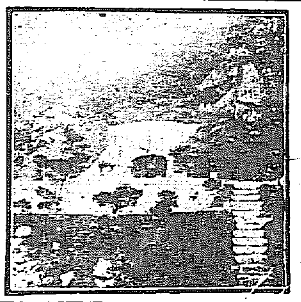
新羅古刹石窟庵重修の工を起すに當り小官命を承け國枝技師監督の下に現場重役を擔任し茲に工事を竣功し開眼式を擧行せらるゝに際し工事の概要を報告する事左の如し

本工事は大正二年六月設計調査を爲し同年十月に著手し大正四年九月十三日工事完成迄日子を費す事四百四十三日諸職工人夫を使役する事一萬一千二百人補足石材八千五百切セメント使用五百六十樽にして工費總額二萬二千七百十七圓七十錢を要せり

本工事施行に關しては工事費全額の補助を本府に仰ぎ道長官掃守に於て經費の經理及び材料供給の事を管掌し特に吏員を派して工場事務の整理をなし又警務部に於ては巡査出張所を特設して内外警備の任に當り以て施工の初より終了に至るまで何等の支障なく工事を進捗する事を得たり

要するに本工事は海拔一千三百尺の峻峰頂にありて材料の供給と石材の採集に多大の困難を感ぜしも諸職工人夫皆能く役に服し工場の規律整然として苟も命に違ふ事なかりしは又以て成功を速ならしめし所以なりとす

此の如くにして目出度下山し同夜は慶州朝日館に於て慶州有志發起の下に歡迎會を開き岡野管理者の挨拶入澤第一部長國枝技師白井理學博士の謝辭あり十二分の歡聲裡に散會せり



修築成りたる石窟庵

石窟庵の佛像

商況

東京株式特電

十八日	前場寄付	大引
日本郵船	九一、七〇	九一、七〇
日郵ね新	……	……
鐘淵紡績	一二八、五〇	……
同上新株	九三、八〇	九三、八〇
日本麥酒	……	……
東株第一	一五二、三〇	一五二、〇〇
東株第二	一五一、九〇	一五一、八〇
東新第一	一二六、三〇	一二六、二〇
東新第二	一二六、三〇	一二六、二〇

東京期米特電

十八日前場十一月限		後場
寄付	一二三、二一	……
高値	一二三、三一	……
安値	一二三、二六	……
止め	一二三、三〇	……

債券現物特電

十八日出來値段(前日との比較)

東洋拓殖	……
日韓瓦斯	……
朝鮮銀行	……
朝鮮瓦斯	……
南滿鐵道	一四二、〇〇

深川在米特電

十八日現在高	
朝鮮米	五一、二〇九
臺灣米	五九、四八四
内地米	一八〇、三二八

公債直取引 東京特電

十八日出來値段(前日との比較)

五分特別	九五、〇〇
五分津發	……
一回四分	七九、八〇
二回四分	七八、八〇
四分	九四、一〇

大阪三品特電

十八日前場	寄付	大引
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]

大阪株式特電

種類	拂込額	十八日前場止値	同日後場止値
宇治川水	[illegible]	[illegible]	……
神戸電鐵	[illegible]	……	……
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]	……
和歌山紡	[illegible]	……	……
岸和田紡	[illegible]	……	……
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]	……
同上新式	[illegible]	……	……
東洋製糖	[illegible]	[illegible]	……
大阪商船	[illegible]	[illegible]	……
日本郵船	[illegible]	[illegible]	……
大阪米穀	[illegible]	[illegible]	……
東京新株	[illegible]	[illegible]	……
大阪株式	[illegible]	[illegible]	……

大阪期米特電

十八日前場	
當限寄付	一三六、一〇
中限寄付	一三六、〇二
先限寄付	一四〇、〇〇

下關期米特電

十八日前場	(好)	
寄附	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]

雜報

●木蠟の暴騰 内地産 稀有の珍値

[illegible]

●外米依然氣丈 清商の買戻と本國

[illegible]

●期米新安値 九圓の大關門を打破 更に一下落

[illegible]

●烏山の米況

[illegible]

見越買進み多く 此間の需要

[illegible]

出市約五十叺内外

[illegible]

殺事買方の氣勢

[illegible]

波瀾一層大 彼岸底を入る

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 三巴仲買店 電話長三三三番

●絹毛布益々好況 騰貴約一割内外 内地製獨占的

[illegible]

●梨は更に低落 市場の過剩 二三十錢方低落

[illegible]

●明太魚稍賣行く 六十錢二十一圓五割安

[illegible]

下關相場

[illegible]

京城正米

[illegible]

壓迫に免れ 見送の外

南大門の廻米

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

生魚市場

[illegible]

仁川期米

十八日前場 大阪三節 二十五錢と安移り 大阪七節一十九錢の高移

[illegible]

市場零聞

下寄跡返す 九圓の大關門に一蹴 大買物九十四錢

[illegible]

▲遂に八圓臺 跳れ返し

[illegible]

▲前場商内振り 遂に八圓八十四錢 新安値

[illegible]

▲人氣動搖す 人氣再動

[illegible]

▲前場の大激戰

[illegible]

仁川米豆取引所 十八日の十一月限

平均値段	前場
寄附	八圓八十八錢
止〆	九圓〆四錢
高値	九圓〆十四錢
安値	八圓八十七錢
直	八圓八十五錢
出來高	八圓八十八錢
一節	八圓九十一錢
二節	八圓九十一錢
三節	[illegible]
四節	[illegible]
五節	[illegible]

	取組高	賣買	比較
九月限	千四百石		
十月限	七千三百五十石		
十一月限	三萬二千九百五十石		
出來値比較			

北濱だより

寄附	九、〇三 一五安
止め	九、〇三 一高
高値	九、〇四
安値	九、〇一 一七安

▲商船下押す

[illegible]

小賣白米

一等白米 十三錢
次白米 十二錢五厘

白米標準値

十二圓六十錢

演藝案內

壽町 詩館 電一〇五〇

當る十五日初日の筈なりしも内地大入の爲め三日延愈々十八日開演仕候 ▲本月十八日より高貴御前演の榮を賜ふたる淨瑠璃界の女傑娘義太夫竹本擬糸一座十二名竹本小雛竹本梅香竹本燕之助同源香同浪之助外▲當度は共進會期中に付特に日下東京大人氣興行中のものを招聘仕り候間初日御來館の程只管奉願上候也

黄金町 世界館 電一四三四番

▲本町有樂館へ移轉の爲休館仕候

櫻井町 大正館 電話八七三番

九月十六日より特別大寫眞提供 ●實寫日本オリンピック大會の實況 ●滑稽新馬鹿大將▲日活會社最近の撮影●新派大悲劇『二人妻』全三卷八十五場 ●佛國エクレール會社傑作 ◎泰西活悲劇『燈臺の秘密』全三卷 [illegible]

明治町 浪花館 電話二六〇番

浪界之四天王名人京山若丸一行來るいよいよ當る廿日より開演仕候 初日讀物 ▲前座員數名出演▲吉原百人斬(京山福造)▲乃木將軍、召集令、川崎工學士(座長若丸)▲座員數名出演に付晴雨に不拘當館は必ず午後六時に開演仕候

黄金町四丁目 黄金館 電話二六三七番

九月十八日より全部差替 天然色活動寫眞會社新輸入一手代理店 ◎實寫獨軍の横暴 ◎滑稽コックの勝利 ◎實寫悽慘たる白耳義首府ブラッセルの慘狀 ◎泰西悲劇『運命の小箱』全二卷 [illegible]

優良石鹸 花の都

何故に化粧用に適するか 色白く肌理を滑かにすればなり

何故に浴室用に適するか 泡出微細に心地好く伸びれば也

マスト石鹸發賣元 東京 大阪 野村外吉商店

月やく

止り 他の薬用ひて効なき御方は他に類なき水薬にて害なく下りる良薬三錢切手封入御手紙下さい至急御知らせ申します 靜岡縣舞阪町 西村屋

瀬戸醫院 外科 皮膚科

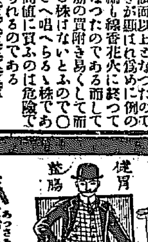
旭町二丁目(舊三丁目) 醫學士 瀬戸潔 (電話二四九八番) 診察夜九時まで

惡疫豫防と 柏村博士のヘルプ

▲腸胃の健全なる人が惡疫に傳染せざるは學理の證する所なり ▲故に此際何人も腸胃の健全を主とするヘルプを服用せよ

定價 十錢 廿錢 卅錢 五十錢 一圓

主治効能 暑氣あたり 水あたり 食傷 腹痛 吐瀉 下痢 腸カタル 胃カタル



本舖 東京市日本橋區本銀町 津村敬天堂

大腸疾患特効新劑 バクシールベス

本邦植物より多年苦心の結果抽出し得たる新薬にして效適確にして副作用を呈せず解熱・鎭痛・殺菌の主治一般腸カタル特に赤痢・腸チブス・腸結核性下痢・裏急後重・腹痛・産後の下痢等頑固なる病症に用ゐて驚く可き偉効あり

東京市日本橋區久松町四 合資會社 バクソール商會 電話浪花二五三四 振替東京三三九六六 ●本薬詳細説明書申込み次第送呈仕候

特約 朝鮮京城明治町二丁目六十三番地 東京 島久商店 京城支店 電話一四四四番

大岡政談 越後傳吉

第百五十七席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

新之助が藤右衛門に向つて 新『此始末は私に任して下さいまし、穏やかに話を纏めて來ますから』といふので藤右衛門が 藤『尤もだ。其ぢやアお前に任すから一つ穏やかに話を付けて來て呉れ 新『宜しうございます、オイ〳〵皆な己の還つて來るまで騒いぢやアならねエぞ、決して竹槍なぞを振廻しちやいけねエ宜か○若親分がお出になるなら私等もお供をしますから 新『そりやア不可ねエ大勢で行けば打壊しだ、已一人で往つて來るから宜い』と乾兒をなだめて置いて新之助身支度をいたし、遣物を持つて乗つて來た駕籠に乗りまして是から鷲の宮へ乗込んで参りました。鷲の宮の大助の家へ参りまして門口で駕籠を下りて 新『大きに御苦労だつた、途中で一杯やつて呉れ』○『有難うございます』駕籠屋を歸して包物を抱えて 新『御免下さいまし』○『ヘエ』聲を掛けて置いて格子を開ける、若い者がゴタ〳〵して居る 新『私は幸手の日野屋新之助でございます、お貸元がお在でなら一寸お目に懸りたうございます』○『是りやア日野屋の若親分でございますか、暫時お控へ下さい』親分日野屋の若大將が來ました 大『さうか、此方へ通せ』○『畏まりました』若親分どうぞ此方へ 新『御免下さい』長脇差を引提げまして奥座敷へ入つて來ました 大『イヤ是りやア日野屋の貸元で能くお出でなすつた 新『今日は少々お願ひ申す事があつて参上いたしました、併し御當家はいつも御繁昌で 大『有難うございます。お蔭様でどうぞかうぞやつて居ります。エ、此程は上方へお出になつたさうで 新『左様で實は先月先代の親父の年忌でございまして墓参旁々上方の方を一週り廻つて参りました、實は其留守中に間違が出來ましたといふ、私も實は今日戻つたばかりで詳しい事情は一向に存じませんでございますが 大『ア、左様でございましたか、夫れはどうも結構でございましたな、上方の方は私もまだ存じませんが宜い所だそうで 新『就ては是れは詰らない品でございますが京都から戻りに求めて参りました友禪、どうか御布團にでもなすつて』と包みを明けて差出したのを大助が見ると友禪縮緬が一匹、糊入紙に包んで水引が掛つて上の字が書いてある。大『是りやアどうも有難うございます、斯様な御心配では恐入ります……新『イエ詰らん品でございます御禮で却つて痛入ります。就きましては御厄介がございますが、私の乾兒の寺島の吉五郎が何か不都合をしたさかいふので當家の御手で上げられました 大『左様でございます 新『済みませんが謂でございますがどうか吉五郎の縄を一つ解いて戴きたうございます 大『ヘエ 新『私も能くは存じませんが何か當家の若い衆と宅の奴等が詰らない事から間違ひを起したのが原因だそうで、私も平常からやかましく言付けて居りますがどうも若い奴等の事で時々間違ひを起します、どうかまア一つ留守中の事なり、藤右衛門も老年でございますから年にお免じ下すつて吉五郎の縄を解けるやうに親分の御計らひを願ひたう存じます 大『ハアそれで何ですかい、貴方が態々來なすつたんで 新『左様でございます、實はお願ひに上りましたので 大『折角ですがお斷り申します 新『ヘエ― 大『寺島の吉五郎は上の役人のお指圖で召捕りました、聞ち御法で打つた縄でございます、貴方のお頼みで宜うございます解いて上げませうと言てエが此大助が解いて上げる譯にやアいきません折角だがお斷り申します 新『そこを何分…… 大『くどいやい 新『ヘエ夫ぢやアどうしてもお聞入下さらないので 大『當然よ 新『是はどうも亂暴 大『何が亂暴だ、ヤイ新之助人を見損なやアがつたか、鷲の宮の大助は金錢づくで縄は解かねエ、男づくでどうか助けて呉れつて膝を抱かれりやア解いてやらねエ事もねエが、賊な眞似をしやアがつて是で縄を解けたア何てエ、言草だ、さア縄を解く事は出來ねエからどうとも勝手にしやアがれ 新『ナニ此奴無禮な事をいふ奴だ、大『ナニ、何が無禮だ、見損ないやがつたか、鷲の宮の大助だぞ―

●晉州まで(三)

勝田生

變化に乏しき山路を四五時間も揺られては流石頑健な僕でも閉口せずには居られぬ。尻は痛む足は痺れる頭痛は催する。故に於てか汽車、汽船、自動車の難有味が熟々と情けられ一日も早く晉州に達する軌道の成立を期待するの情一層に深く感ぜられたのである

●泗川を過ぎ約一里餘一條の坂路を登れば南江の左岸絶壁斷崖の山腹に對岸の山麓に點在する赤煉瓦の建物や古き城門のある所之れが目的地の晉州なりと聞いて倦怠せし心情に蘇生を覺え馭者に命じて一鞭を加へ十二時晉州の町端れに到着宿引の強請するを耳にも入れず佐久間弘二君並に横山氏を訪ひ當地の近況を聞き三時空腹を抑へて望月に投宿す

●今日日曜なれば休養せんと一室に偃仰して雜想に耽れば隣室より漏るチヤガレ聲は堀家氏なり僕が同氏に附隨するのか同氏が僕の後を追ふのか止まれば能くも一所になるもの哉と不審に思ふ。

公告

大正四年九月以後當院平澤出張所、利川出張所、安城出張所、金良場出張所及廣州出張所ニ於テ取扱フ商業登記其ノ他法令ノ規定ニ依ル登記事項ノ公告ハ京城府ニ於テ發行スル京城日報及毎日申報ニ掲載ス

大正四年九月二十六日

京城地方法院

タンセキ改良劑
呼吸器散
呼吸器丸
本劑は最新商貴の特效藥を配伍せるを以て、如何に重き呼吸器病にても一週間程試よ! タンを祛りセキを鎮め胸苦しきを和らげ安眠の効を奏す
かゝる人に何の効あり
■息苦しく胸痛む人、■咳出で眠られぬ人、■たんに血の交る人、■聲涸れ出でざる人、■のんど腫れ痛む人、■たんせき切れ難き人
(四十錢 二十錢 四十五錢)
本舗 大阪 東京 丹平商會藥房
全國到る處に販賣す

平壌名産
ピンス・子持栗
滋養豊富 風味佳良
平壌 秋鹿商店 電話五四四番
弊店製品は共進會々場平安南道賣店に於て出張販賣致し居り候間是非御立寄り被下度休憩所の設備も有之候

院長 岡山醫學士 村上徳一
内科 小兒科 婦人科
京城醫院
京城本町二丁目(電話七四二番)

仁川水族館前通り(吉金商店前より阿波屋金物商店前)道路中央幅一間半の間に於て當館開期中夜市開催致候に付賣店希望者は當協賛會事務所に申し出られたし
仁川協賛會

婦人科 産科
入院分娩應需
京城旭町壹丁目 院主 衣笠茂
中央婦人病院
電話二三四〇番

日本名物
お友達仲間でも
見れば見る程美しい……
クラブ白粉の薄化粧!!
使へば使ふ程自然にお顔の生地迄も美白にするはクラブ白粉の最も秀でたる特色
何時迄も見飽のせぬは淑かにして美しい
高貴御料 クラブ白粉の薄化粧なり

一絲みだれぬ
最近の化學と經濟とに依つて冷靜に嚴密に批判を下さるゝ時には、必ず
品質本位の花王石鹸が石鹸中の最優位です
花王石鹸東京代理店 東京馬喰町 長瀬商會
花王石鹸日本西部代理店 大阪安土町 大崎組商會

汽車 (時刻表、判読不能) [illegible]

京城日報
年中無休刊（大祭祝日翌日休刊）
發行所 合資會社 京城日報社

朝鮮開發の五年

五 財政と金融（三）

整理と緊縮

荒廢の領土を開發し新附の民衆を撫育するに方り、若し夫れ豊富なる財力と充分なる職員とを以てせば、經營の容易にして成功の迅速なるべきは言を俟たざる所なり。然も斯の如きは東西古今を通じ望むを得べき所に非ず、限ある經費と寡少の人員とに依り、以て多難の事業を遂行せむとするに於て、初めて經營の苦辛運用の妙味を見るべし。

我國は前後兩度の戰役に際會し、國威の遽かに宣揚するに伴ひ、國家の負荷も亦頓に激增したるに鑑み、中央政府は一般の行政及び財政の整理を遂行し之れが緊縮調節を爲すに決したるを以て總督府に於ては經費節約及び事業繰延を實行すること、なれり。此方針に依り行政の整理及び經費の節約に關しては事に臨み折に觸れ之れが遂行に努め、新政開始以來五箇年間に於いて實に前後四回の大整理を斷行したり。而して此の整理節約たるや、之を行ふの方針は（一）恒久的節約と（二）一時的節約とに分ち、恒久的節約とは俸給、廳費、旅費、雜給、雜費等を節減して以て將來に亙り恒久的の財源を得るにあり、大正元年度以降本年度まで斯種の節約額は累計三百五十五萬餘圓に達す。而して一時的節約とは主として事業費即ち臨時土地調査費、土木費繰延、鐵道建設及び改良費等の繰延にし、大正元年度以降本年度までに節約合計七百五十萬餘圓に上る。即ち兩者を合する總節約額は一千百六萬餘圓にして、斯くの如く整理節約及び經費の繰延を施したる金額は甚だ多額に上れり。而して之れが決行に當り當局者は少からざる考量を加へ、朝鮮に於ける諸般の施設は概ね創始の事項に屬し、開發上一日も等閑に付すべからざるもの多きが故に、經費節約の爲めに必要喫緊なる施設に支障を來すなからむことに最も注意し、各回の整理を通じて、俸給其他各種給與の率を引下げ、或は廳費及び旅費等に於て減額を施す等專ら行政費に於てのみ多大の節約を爲したるが如き當局苦心の存するところを察知するに足る。此等數次の整理の結果は豫算額と決算額との逕庭漸次相接近し健實を保持せる經費のみを見るに至れり

財政獨立の計畫

總督府は朝鮮開發の趨勢と母國財政の狀態とに鑑み、大正三年度に於て財政の根本計畫を立て、朝鮮財政の獨立を計り以て特別會計設置の主旨に副ふことに決定せり。

抑も朝鮮總督府特別會計を設置せるものは其の財政をして漸次獨立せしめんとするの趣旨に基づく。之れが實現を速かならしめむとせば其方法は、積年疲弊せる一般經濟を改善し、民力を休養し、以て徐ろに財源の涵養を圖るに在り。而かも財政の獨立は常に民間の經濟狀態と相伴ふを要し、是が爲めには民産を增殖する方法として農工商諸般の事業を獎勵發達せしめ、又生産品の販路を開くが爲めには鐵道、道路、港灣を建設補修し、通信運輸を簡捷にするを最も必要とするが故に、併合以來總督府は鋭意産業の開發に必要なる施設を斷行し、民衆の福利增進に努力し、爾來數星霜今や諸般の施設は駸々として進み交通機關の整備普及に伴ふ需給の調節は物價の均衡を來し産業の助長獎勵は生産物の增收を促がし、一般經濟の事情は全く面目を新たにし復た昔日の觀なきに至りしを以て、茲に財政根本の方策を確定し其の獨立を計るに至れるなり。

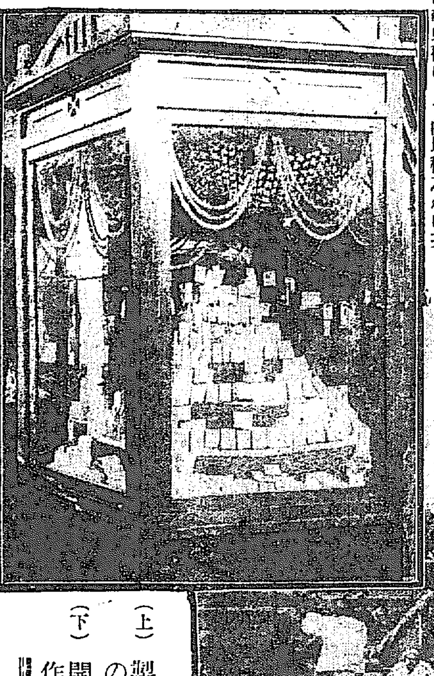
朝鮮財政獨立計畫の骨子とする所は、經濟發展の趨勢を精査考量し、民力增進の程度に應じ一二新税を起し又は税率を引上げ、其の增收により一般會計補充金を遞減し、朝鮮は朝鮮の財政に賴りて經營せんとするに在り。其要領を擧ぐれば、近時土地の收益著しく增進せるを以て其負擔力に應じ地税率約四割を引上げ、從來概ね地税の負擔を免かれ居たる市街地に對しては新たに市街地税を起し以て負擔の均衡を計り、又此等直接税との權衡を保ち負擔の分配を公平たらしめんが爲めに低率の煙草消費税を起し、新税の賦課と税率の引上げに依る收入の增加と一般經濟の進展に伴ふ既定歲入の自然增收とを以て母國財政一般會計の補充金に代へ、漸次此の補充金を遞減して大正三年度以降五箇年を期し全く之を辭退するの計畫にして茲に朝鮮財政の獨立を遂行せんとする也。以上の方針を以て大正三年度豫算は編成せられ、以來此の計畫は何等の支障なく實行せられ、租税增徴も豫期の如く、補充金も當初の計畫に從ひ漸次遞減せられ、且つ朝鮮開發に必要なる經費は益々增加せられ積極と消極と方針其歩武を共にして着々進みつゝあり

大共進會 出品概觀（六）

第一號館（農業部）

▲葉莨及び製造煙草

第六類は葉煙草及び製造煙草の陳列場は之に隣りて四十七坪の面積を劃し葉煙草九百二十九點、製造煙草二百十三點の外諸種の總計、模型、人形等を並べたり、中央の通路に横列せる五臺の黒塗陳列棚には鮮内各道の葉煙草を吊せるが此内最も多數なるは朝鮮種にして内地種之れに次ぐ、



た壁面に沿へる大陳列棚の中段には一列に多數の硝子瓶を並べて黄色種を示し、下段には朝鮮内地は勿論土耳古、玖馬等世界に於ける有名なる煙草原産地の土壤を出陳せり、此棚と並て北手に忠州黄色煙草の耕作及び乾燥調製狀況を現はせる模型あり、忠州郡を中心として他四郡二百六十五町歩に亙れる耕作地を包容し其背景は油繪となして遠く漢江流域の沃野を望ましむ

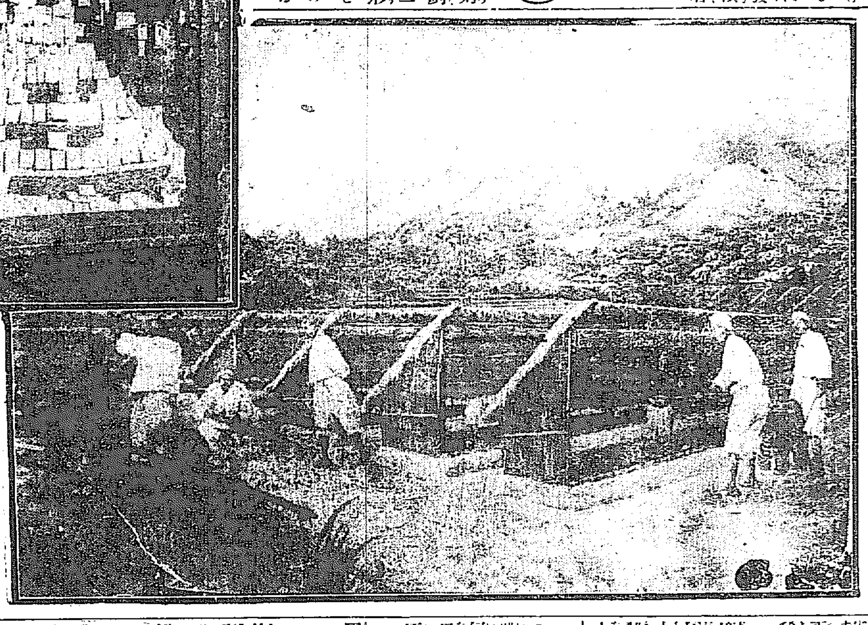
又た外國煙草及總督府の試驗品を並べたる陳列棚以北の硝子戸棚は鮮内主要製煙業者の共同出陳所にして其裝飾には何れも意を凝らし思ひを致さゞるはなきが中にも東亞煙草會社の二會社一商會は殊に優秀の觀あり此處を通覽して最も吾人の感興を惹くは紙巻煙草の包裝が非常に多種多樣に渉れる一事にして其數幾百種なるを算し意匠の卓越せる物亦尠なからず、是は葉煙草生産の激増に伴ふ製造業者の進展を證するものにして統計に依れば併合當時に於ける製造煙草の輸移入額は百三十五萬圓に達したるもの大正三年に至りては却つて二十七萬圓の輸移出超過を示し、鮮内製産品の消費額は百八十一萬圓より五百三十五萬圓の激進を示し居れり

▲人蔘及び藥草類

人蔘及び藥草は第一號館第一部中の最後方に在り、曲尺形に据えたる硝子戸棚には官廳の出品に係る五十四點の人蔘及び蔘製品を並べ、長方形の大硝子戸棚には各道の藥草四千五百點並に主産地の白蔘六十點を陳べたり

藥草に就きては説明を要せざるが民間出品の白蔘、中蔘、尾の曲れるは之を曲蔘と稱へ、全北の錦山、忠北の永同、江原の淮陽及び平昌等の産品に係り、蔘尾の直ぐなるは主として專賣局に調製して開城出張所管内に於ける特別耕作區内の生産品なり、又た此内には北道廳の出品にかゝる山人蔘あり一本の價格百六十圓と稱する珍品にして

官廳の陳列棚は上部に十五片品より五十片品に至る五種の紙蔘及び喫蔘を並べ下方には一年生より六年根即ち採取期までの水蔘を徽く、此他國産品、生蔘模型等を陳列せるが病害の狀況を示せる水蔘並に吉林省産の山人蔘は當業者の好參考たる可し其より壁間に掲げたる人蔘耕作及製造に關する種類の統計を一覽して通路に出れば東側の大硝子棚には開城産業組合の出品に係る家蔘耕作の起源を示せる人形あり昔し全羅道同福縣に一寡婦あり、子を求めて神佛に祈り蔘種を獲て田に種ゆ、之れ朝鮮に於ける家蔘栽培の起源にして赤紅蔘の濫觴なりとの傳説に依り現下日本一の人形師と謂はるゝ東京安本龜八の製作せるものにて殊に同人得意の作なりといふ相貌眞に迫り觀客常に蝟集して頗る好評を博し居れり



（上）製造煙草陳列戸棚の一部
（下）開城附近の人蔘耕作狀況
＝共進會第一號館農業部＝

避暑漫筆

十二 大風

大谷光瑞

支那海の大風とベンガール灣のサイクロンメキシコ灣のハリケンコウリシュス島のサイクロン皆其名を異にすと雖も地方的特性の暴風たるや一なりフイリツピン群島の東南より本邦に至る迄一帶の支那海沿岸及び太平洋は若夏秋この猛威を蒙らざる事稀なり換言せば北緯十五度及東經百四十二度より百十度迄までは皆危險區域に屬す本邦の四分の三はこの危險區域中に包含せられ僅かに北海道及び奥羽の北部少許のみ安全なりとすこの大風は常にフキリツピン群島とグワム島との間に發生するもの、如しこの原因は學者間に種々の説を爲すと雖も今これを列擧批評するの要なし何れも通説とし不拔の確論となすに足るものなし然れども事實はこの太平洋上若くはその附近に生ずるものゝ如しこの大風即ち低氣壓は大旋回運動をなさんとするの特性を有し他の低氣壓と其の性をやゝ異にせり他の低氣壓（即ち寒氣の暴風）は概ね其進路は直條にして西より東に（確言せば西の四分一圈より東より北に至る四分一圈に至る）進行するを普通とし時にやゝ弧狀をなすことあるも弧圈頗る濶大なり印度に於てはペルシヤより寒氣暴風は西部に於ては西北西より東南東に向ひ中部以後は東に走りやゝ弧狀を畫きシベリヤ西部又此の如き線をなせりと雖も本邦附近は西又は西南より北東に進むを常とし多く弧狀をなさず然れども大風の低氣壓は七割は弧線を畫き其三割とも弧圈濶大なるを以て直條の如しと雖も詳細に研究せば決して直線に非ず故に至熟至練の氣象學者と雖も其進路を豫察するは甚困難にして警報を發する時機を誤り大失體をなすこと少なからず特に其進行速力も頗る一定せず北緯卅度以降に至れば稍や速度を測定し易しと雖も二十度以南の低緯度に在りては一定せず時に數日動かざるやの感あり特に發生地より最初に居住民を有する島嶼までは全然海上にあるを以て全く位地速力を知り難く突然備へざるに殺到し數千の人命と幾百萬の財産を喪失すること比年相連れり香港の如きは其適例なりとす（未完＝大連に於て）

大阪三品
大阪期米特電（十八日）△後場 當限寄付十一圓八十七錢△中限寄付十一圓八十四錢△先限寄付十二圓二十八錢 止め
仁川米豆取引所 十八日後場 △大阪商船…
△今買に就き 後場の不勢に向つて猛然大買物を取り…
平均値段 一 二 三 四
出來高 二萬千二百五十石

本號目次
大禮記念 學生 別刊 名所舊蹟號
郷土論 文學博士 大町桂月
表紙三色版、口繪三色版二、寫眞版十、挿畫四十
定價金卅錢 郵税二錢
東京神田 富山房（振替五〇一番）

大日本通信農學校
新學期 生徒大募集 必す成功を保す 即位御大典記念特典あり
泣く青年諸君を救ふ天下唯一の文部省認可
得業士 農國の青年
東京本郷新花町 大日本通信農學校

巡廻幹事及支部長募集 月收百圓以上
御大典記念農業獎勵會員募集に當る者は履歴書に送料壹錢切手四枚封入 東京本郷新花町日本農學校へ申込め

小川家畜病院

廣告
坂出鳴海氏今般渡歐に付き送別會を左の場所に於て開催致候間萬障御繰合御出席被下度候
場所 旭町一丁目 白水
時日 十九日午後六時
會費 三圓（當日御持參の事）
高知縣人會幹事

花
目録往復ハガキ
申込無代進呈
大正園

活字販賣 其他附屬品各種
京城大平通一丁目 初田活版製造所

朝鮮京城於共進會機械運轉廣告
共進會開會中毎日左の諸機械を運轉し實地作業を御覽に供するを以て必す御來會御賢験の上御用命あらんことを奉希望候
◎今橋式自動敷精米機五連座運轉装置 此精米石高拾時間六十石 動力五馬力 粳米籾別共自動取扱人一人足
◎同大形（細米エンゲル形に同じ）一臺運轉 此精米石高同上四十石 動力五馬力
◎同敷島籾摺機一臺運轉 此製石高同上約四十石 動力一馬力半
◎製莚機一臺作氣實施 此製莚高一日廿五枚以上（但自由叺製共）
會期中會場假出張所に詰切候に付御質問及御用命共被仰付度奉希望候
店員數名 大阪市西區江戸堀北通三丁目 敷島精米機其外製造元 米穀精米及鐵工業 今橋芳松商店 電話西二八二 振替口座大阪一四四〇九番
京城府旭町一丁目九四番地ノ四 府廳西横手南上ル川端 同 京城假出張所

専賣特許 登録商標 敷島 米麥川精搗機

千載一遇の名譽
今橋式敷島精米機は本秋御擧行の御大典に膺り大嘗祭主基齋田米精白用として御撰定御用命の光榮を賜へり

旅館開業
今般左記の處に開業家具、食具、寢具等を新調し殊に客室の如き頗る閑靜にして叮嚀に取扱致す可く候間御來館の程願上候
京城南大門外南横上 南大門旅館 電話一〇三三番

京染 織物 白生地 販賣

廣告
本月十一日より弊會社名を左記に改稱致候に付此段廣告候也
大正四年九月
京城電氣株式會社
日韓瓦斯電氣株式會社

列強大戰

▲非常增加　露國の戰場供給

佛國公報＝露國陸相ポリバノフ氏曰く糧食彈藥の供給を改善したるは滿足なり其供給は過去二週間に於て非常に增加し小銃の供給亦非常の增加を爲したりと（倫敦發）

▲ピンスク　獨軍に奪はる

獨軍はブレストリトウスクの東百哩なるピンスクを占領せり露軍はグロドノの東北に於て頑強なる抵抗を爲しつゝあり（倫敦發）

▲墺軍辟易　二十哩退却

露都公報に曰くガリシヤに於ける墺軍右翼は露軍の攻擊に辟易して二十哩退却せり（紐育發）

▲危哉勃國　希羅兵國境に集中

希、羅兩國の兵は勃牙利國境に集中しつゝあり勃牙利は是に就き兩國駐在公使に對し速に明確なる回答を要む可き事を命じたり獨紙は羅馬尼の開戰せるを報せり（紐育發）

▲英驅逐艦擊沈

英國海軍省發表に曰く敵は驅逐艦E七號を擊沈し將校三名、水兵二十五名を捕虜とせりと主張せるが九月四日以來消息無きを以て多分事實なる可し（倫敦發）

▲船舶捕獲理由

英國海軍省は發表して曰く、捕獲審檢所は米國よりコペンハーゲンに向へる四隻の船舶搭載の貨物を沒收したり其理由とする所は該貨物が結局獨逸に向ふ可きものなりと云ふに在り尙ほ此の判決に依り多大の價格を有する貨物を積載せる爲め八隻の船舶も亦同一取扱を受く可し（倫敦發）

▲獨艇佛海出沒

巴里來電公報に曰く若干隻の獨逸潛航艇はロアールヂロンド兩河の河口佛國海岸に出沒しつゝあり（倫敦發）

◎國體建議

北京參政院は十七日午後談話會を開き國體請願案審査の結果を報告し非公式討論を爲し若し多數のものが建議に贊成せば直に正式會議と爲し建議案起草委員を設くることに決定せり右に關し某政府當局者は語つて曰く參政院多數の贊成を以て建議案を致すとも政府は命令を以て國民會議の解決に俟つべきことを表明して人民の誤解を去らしむべしと（東京特電）

◎豫算議了　五年度一般會計

十七日の會議に於て大正五年度一般會計歳入歳出總豫算案は全部議了したり但し第一回豫算閣議の議題となりし大藏省査定案に對し其後各省より復活の要求あり其理由あるものに對しては大藏省と各省との間に互讓し其一部の復活を認めたる結果過般言明したる歳出の總額五億五千萬圓は多少增加したると同時に歳入も增加したり而して今回成立せる新要求は海軍の新補充費總額約四千五百萬圓大正五年度以降四箇年に亙れり而して五年度年度割は大藏省査定案に五千萬圓を增し六年度は同上三百萬圓を增し五六兩年度の增加額は七八兩年度に於て減少するものなり此の外電話擴張費、海軍航空隊設備費、米麥品種改良費、工場法實施費、鑛山監督官設置費等にして製鐵所擴張費、區裁判所復活費は全部見合となれり（東京特電）

◎河野農相渡鮮　內閣大臣代表

河野農相は來る二十七日內閣大臣を代表して京城に開會中の朝鮮始政五年記念共進會に赴く筈（東京特電）

◎支那觀覽團　著期

朝鮮共進會觀覽の爲め馬交涉員外三名月末當地出發京城に向ふ（奉天特電）

◎總督府吏員　免官

十八日左の通り發表ありたり（東京特電）

朝鮮總督府技師　原島善之助
同事務官　森山誠之
依願免本官（各通）

◎村田氏應援演說

村田保氏十八日午後門司著同志會應援演說を爲す選擧競爭活氣を呈し來る（門司特電）

●ス博士の總督統治評　總督招莚の演說

寺內總督は十七日午後零時三十分より今回來鮮の米國傳道教會幹事神學博士ロバート、イー、スピーア一氏、及びエヂンバーグ萬國宗教協會教育委員テー、エッチ、ビー、セイラー氏を主賓とし同時に米國總領事ミラー以美派監督ハリス、宣教師アンダーウード、グール、スミッスの諸氏を招待し總督府よりは山縣政務總監、宇佐美長官、小松書記官長、兒玉關屋兩局長等參列の上午餐會を開け り席上總督は大要左の挨拶を爲したり

宗教界並に教育界に於て有名なるスピーアー、セイラー兩博士と會見の機を得たるを欣ぶ、特に兩氏が現下の時機に於て來鮮せるは双方に取りて洵に幸なりと言ふべし、何んとなれば朝鮮全體の進步せる狀態を多言を用ひて說明するの代りに目下開催せる共進會に依り一堂に於て短時間に領解することを得べければなり、右は單に既往五年間の成績を示せるに過ぎずと雖も其目的は更に將來の殖產興業を促すに在るを以て尙ほ今日以上の發達を期する者なれば這般の趣味を以て觀察せんことを望む、朝鮮內に於ては旅行上出來得る限りの便宜を與ふるに努むべく尙ほ以外の土地に於ても愉快に且つ有益なる觀察を遂げ一路平安ならん事を祈る

右に對しス博士は謝辭を兼ね概要左の意味の演說を爲したり

總督閣下が公務多忙中特に我々一行を招待し鄭重の饗應を與へられしは感謝に堪へず予は十八年前一たび來鮮し平壤を視察したるが今日進步の狀態を以つて當時に較すれば誠に霄壤の相違にて急激の進步に驚かざる能はず、一例を擧ぐれば當時平壤監獄の如き戶締りも不完全にして若し囚徒の逃走を企つるあらんか容易に逃走し得べき狀態に在りき而も此等の設備にて差支なかりしは囚徒の待遇危惡を極め食物も十分に給せざる爲め精神身體とも羸弱して破獄を企つるの力さへなかりしに由れり、其裁判の仕方の如きも亦た以て察するに餘りある事なり、然るに今回監獄を見るに設備の完整殆んど他文明國と大差なき有樣にて囚徒の如きも全く面目を一新し居れり、是れ單に外見の事に過ぎずと雖も內實亦た文明の裁判に依り公正の決定を與へらるゝを思ひ鮮民の幸福を察せずんば非ず

▲抑も日本政府の爲し居る事は能く鮮人の狀態を了解し最も貧弱の窮境より救出だして之を文明の民たらしめんと努め居るなり、即ち單に併合せりと言ふのみに非ずして其民を撫育同化し日本國民と同一の進度に進達せしめんとする者なることを了解し得るなり、要するに朝鮮に於ける、日本の施設は全然非利己主義の高崇なる偉業にして、單に米國人のみならず廣く世界の賞讚に値ひす更に之を言へば現在進步の狀況に依り日本政府は朝鮮人を自然的に同化すべく最も寬大にして且つ理想的の事業を建設する者なりと解するを得るなり

▲蓋し其寬大の程度は我が米國が比律賓に於て實行し居れる施設に比し遙かに優れりと言ふことを得べし、尙ほ具體的に之を言はんか比律賓にては經營の費用は之を地方人民の負擔に待つの方針を取れるが朝鮮に於ては日本皇帝の恩賜に依りて窮民救恤の仁慈を示せるのみならず政府は年々經費の缺陷を補充して母國民は其負擔を頒ちつゝあり、又朝鮮の施政方針は世界の強者が弱者を統治する場合に於て往々彼等を劣等人として取扱ふの通弊に倣はず、此世界の進步に後くれたる人民を親切扶掖誘導して優良なる日本國民に同化し引揚げんとする者なり蓋し是れ殖民史上稀有絕無の高潔なる事業にして朝鮮人には言ふ迄もなく非常の感化を與ふべきを疑はざる也（未完）

●寺內總督祝辭　全國金物商聯合大會

全國金物商聯合大會は既記の如く十八日午前十一時委員會を了へて京城ホテルに開催されたり、式場に於て寺內總督代理宇佐美長官の朗讀したる祝辭左の如し

始政五年記念朝鮮物產共進會開設に際し全國金物商大會を開き會員相互の連絡を保ち取引の改良發達を圖らむとするは洵に機宜を得たるものにして本總督の深く欣ぶ所なり抑金屬製品は日常生活の必需品より各種產業に必要なる器具機械類を包含するを以て商品の精粗取引の良否は產業の發達に影響する所尠からざる可し冀くば此機會に於て斯業に對する眞摯なる研究を遂げ朝鮮に於て將來發達せんとする採鑛冶金の事業と相俟て商品の精良と取引の改善圓滑を圖り斯業の發達に貢せんことを、一言以て祝辭とす

大正四年九月十八日
朝鮮總督伯爵　寺內正毅

●赤愛總會　次第愈々決定

日本赤十字社朝鮮本部第二回總會及愛國婦人會朝鮮本部第三回總會は十月二日昌德宮內秘苑に於て開催のことは既報の如くなるが其の次第は左の如く決定したり因に京城府內の社員及び役員に對しては二十五日頃迄に案內狀を發送す可しと

十月二日（土曜日）午前十時昌德宮秘苑に於て兩朝鮮本部社員、會員總會を開催す
午前九時三十分迄に招待員、社員、會員、遺族癈兵一同會場に參著
午前九時五十分　兩殿下御著兩朝鮮本部長以下適當の場所に於て奉迎　奏樂
兩朝鮮本部長御先導御休憩所に入らせらる
兩朝鮮本部長は御休憩中職員名簿社務、會務の狀況書を上る
午前九時五十分爆竹の相圖に依り招待員、社員、會員、遺族癈兵一同標示の位置に整列
午前十時兩朝鮮本部長御先導兩殿下式場台臨　奏樂君ケ代一同最敬禮
朝鮮本部總長日本赤十字社朝鮮本部第二回總會開催を宣告す
總裁殿下御諭旨を賜ふ　一同最敬禮
朝鮮本部副總長奉答（印刷せるを以て之に代ゆ）
朝鮮本部總長有功章、特別社員章御親授の旨を宣告す
本部職員の召呼に應じ拜受者御前に進む
總裁殿下有功章、特別社員章御親授
本社長祝辭
本社長賞記、推薦書を授與す
朝鮮本部總長日本赤十字社朝鮮本部總會の閉會を宣告す
愛國婦人會朝鮮本部第三回總會開催
朝鮮本部長愛國婦人會朝鮮本部第三回總會開會を宣告す
總裁殿下御諭旨を賜ふ　一同最敬禮
朝鮮本部副長奉答（印刷せるを以て之に代ゆ）
朝鮮本部長事務會計を報告す
本會長祝辭
朝鮮本部長有功章、特別賜金御親授の旨を宣告す
本部職員の召呼に應じ拜受者御前に進む
總裁殿下有功章、特別賜金（軍人遺族、癈兵各總代）御親授
朝鮮本部長閉會を宣告す
兩總裁殿下御退場　奏樂一同最敬禮
兩朝鮮本部長御先導御休憩所に入らせらる
右畢て餘興開始

▲一般參列者注意
會場入口は總督府醫院前弘化門（電車終點）とす
參列者は必ず案內狀を持參し入場の際會場受付に於て案內狀引換に記念品、食券、報告書等を受取るべし
參列者服裝男子は『フロックコート』制服『羽織袴』婦人は質素を旨とし別段白襟紋付に及ばず紋付も黑に限らず
鮮人は相當服裝のこと
參列者は社員章、會員章佩用（有功章併佩）のこと（略章一用謝絕）
婦人會員中社員たるものは徽章併佩のこと
參列者は開會三十分前に入場せらるべし
參列者は式後食券引換に祝酒辨當を受取られ會食の上秘苑一圓、動植物園、及び博物館を參觀畢て隨意散會のこと
尙ほ特別社員、有功社員及び職員にして慰勞茶話會に招待されたるものは式後直に仁政殿に參著せらるべし

●司令長官一行　京城滯在日程

十八日仁川に入港せる第二艦隊司令長官名和中將以下幕僚三十名の京城滯在日程左の如し
十九日午前九時南大門驛著入京、同所より馬車及び人車にて總督府に至り寺內總督、山縣政務總監を訪問の後、昌德宮觀覽李王職より茶菓の饗應を受く
正午共進會場に至り（途中檜垣道長官訪問）慶會樓に於て協贊會より午餐の饗應を受け場內を觀覽午後七時總督邸晚餐會に列席し巴城館に歸宿
二十日午前九時旅館發京城女子高等普通學校參觀に續きて龍山に軍司令官を訪問し午餐の饗應あり、午後三時五十分南大門驛發列車にて退京歸艦す

●下士官入京順

名和司令長官以下將校の入京次第は別項記載の如くなるが准士官以下の京城見物は十九日より二十二日に分ち每日准士官六十人、下士七百人宛順次觀覽せしむる筈なるが見物の次第は午前八時四十分南大門驛著、昌德宮に至り正午より共進會場見物午後三時五十分退京なりと

●ベンネット氏の車中談

十六日午後十時仁川行の列車は南大門を發した記者は仁川[illegible]昌洋行支配人ベンネット氏と同車したのであるが同氏は談つて曰く私の商店では今度戰爭の爲め鐵物、ウツシソーダー、自轉車ペリント香港砂糖マニラロープ、パインアップル等が殆ど輸入途絕の狀況となつて金巾及び糸は極少量の輸入があるのみであります、時に私の本國からの通知に依ると獨逸は今年中に戰爭を片付けると觀測するが英國邊では本年の九月頃に終了の豫定である、目下の處獨逸は四面楚歌の聲である、兵糧及び軍需品の缺乏を來して終りには屈服する日本の新聞は獨逸の強いやうに報ずるがそれは全く誤りである英國も中々強いと盛んな氣焰である

●仁川八月倉庫業

仁川八月中倉庫業は米豆も端境期に入りたると米價は稍引返せしも大した事なく爲めに奧地殘存米の廻著も弗々にして大豆の如きは出廻り殆ど皆無の姿にて米穀市場は至極閑散の狀態を呈したるを以て在庫高は玄米五萬三千五百七叺籾三千百二十七叺大豆三千四十九叺を主たるものとし合計六萬六千四百五十叺にして前月の七萬九千九百十七叺に比するに一萬三千四百六十二叺を減少し前年同月の二萬三千三百八十九叺に比すれば四萬三千六十六叺の增加は米價安の爲め精米の不捌八月中穀物協會月末在庫數調によれば玄米の銀行會社及び其の他の入庫數に合計五萬三千五百七叺白米は二千九百八十一籾三千百廿七叺大豆三千五十九小豆一千六百七十六大小麥一千三十七糯米二百五粉米三百六十九粟二十八雜穀四百六十六なりき

●部長會議案件

仁川協贊會部長會議は十七日午後三時より開會左の事項を協議決定せり（一）夜間裏門開放の件、但し水族館入場者の入場料は從前の通り徵收する事（二）新聞記者團招待案內の件（三）共進會閉會を機とし諸種の大會開催せらるゝに付き此種の大會には特に案內狀を發する事（四）本館二階に優待券所持者に茶菓を饗應する席を設くる事（五）餘興委員をして場內に於ける餘興を增し其の費用は增額出資する事

●軍司令官の招莚

井口軍司令官は十八日午後七時より龍山官邸に於て晚餐會を催ふし寺內總督山縣政務總監以下を招待したり

●商議役員會の結果　京城

日本人商業會議所にては十七日午後七時より同會議所樓上に役員會を開催原田會頭關副會頭吉原市原の兩特別議員常議員商工課長等參集新商業會議所令施行に伴ふ現商業會議所善後策に就き協議する所あり十時散會せしが當日の協議事項に就ては追て鮮人會議所の意嚮をも照合したる上更に會議を開き方針を決定することゝなりたり

人事消息

▲松尾鶴男氏（東京實業家）十八日朝出發內地へ
▲末川英彥氏（神戶實業家）十八日夜入京朝鮮ホテルへ

觀覽團消息

▲下關視察團▲▲▲十九日朝八時四十二分龍山發汽車にて歸鄉
▲兵庫縣視察團　服部知事以下兵庫縣視察團の一行は十九日鎮南浦發南大門驛通過退鮮す可し

北まはり

郷里に母を訪ふ　神崎憲一

哈爾賓丸が定刻の十八日午前九時門司に著くと支局の丁さんと門司新報の有村さんとが迎へに出て呉れ、荷物や其の他種々の世話などをして呉れる其れから支局に行き久しく振りで京城日報を見る、別府南行選手は昨日因幡丸で臺灣に向つたさうだ僕は明十九日午後四時出帆の亞米利加丸にて臺灣に行く筈だが今から三十時間待たねばならぬ、幸ひ郷里唐津に五年間逢はぬ母を訪はんと十時四十五分發の列車に乘る、折柄八陣報知新聞門司支局長と同車、繪の如く美しき故國の山河を眺めては輕き嬉悅を感じつゝあり（十八日午前十時門司發）

鐵道大競爭

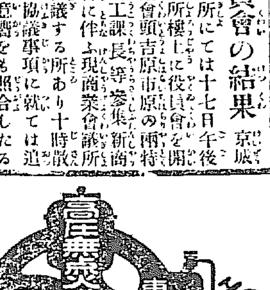
北廻選手（唐津に歸省十九日午後門司出帆）
南廻選手（十七日門司發因幡丸にて渡臺中）

東西南北

▲奇人鑑『四天王』▲▲▲伊豫國久勝村とい[illegible]袖を著るべからず田植に客[illegible]らず運路に物を遣るべから[illegible]今にランプさへ用ゐず其四は奇人に[illegible]も奇行に富めりと
▲十圓札で尻を拭▲▲▲[illegible]後十圓紙幣にて尻を拭か[illegible]何れの辭書を開いても大抵異中頃に[illegible]が一方歌蝶の且那奥村安太郎君は落[illegible]ると共に國民の奢侈を防がんとする[illegible]んなに大きいかと思つたが人間の小[illegible]

講談 落語 名家新十八番　娛樂世界十月特別號
佐原喜三郎 伯知　大坂屋花鳥 如燕　村田の雁金 伯山　樟腦玉 小圓　佐野鹿十郎 南龍　鼠小僧 圓玉　鬼薊清吉 典山
堀田の怪異 貞山　佃祭 圓藏　魔法破り 文車　赤尾の林藏 貞山　二豆[illegible]　魔猫退治 馬琴　魔女の戀
大懸賞募集＝發表
廉價無比＝大家競作三百四十頁の大冊
▲本號金卅錢
東京市日本橋區 鈴木書店

日韓瓦斯電氣株式會社製品 コールター 販賣特約
京城南大門通 巴商行 樋口米太郎
鎮鑰其他鑄造製作 久保田鐵工所代理 同 工場 電話四二四番
電氣用品工事設計請負 中村製作所代理 京城明治町 同 支店 電話一四二五番



最も經濟なる原動機
構造に複雜なる部分なき爲め修繕に便なき僻地に於ても尙有利に使用する事を得る
武馬力＝參百八拾圓（型錄贈呈）
東京市芝區本芝 株式會社 池貝鐵工所
東京市京橋區銀座 同 銀座販賣店

內科 婦人科 眼科
京城南山町二丁目 電話二二四番 一元堂醫院 院主 小山亨

吳服店 京城黃金町二丁目 丸一綿部 電話二三三一番
◎仕立上蒲團取揃有之候
◎綿は只今最低相場御仕入に好時機と存じ候
（定價表一覽次第進呈）

入院隨意
泌尿生殖器科 皮膚花柳科 外科
京城永樂町二丁目（金光教會隣） 安部醫院 電話四一九番 院主 安部修三
診察時間 午後九時迄

臨時宿營業開始
共進會開會に際し觀覽客の御便利を計り宿泊料は特に規定の半額とし尙ほ觀覽案內者を附隨爲致可申候間陸續御投宿之程伏て奉希候
御料理 龍山 和歌の家 電話三八番

結び堅い〳〵で押通す正直爺さん家[illegible]産物を三箇年間喰ふ丈けの[illegible]政は合議制度にて翁自ら議長たり其[illegible]ら栽培して一切他に賣らね[illegible]二は川又門三郎とて常に『嫁入に振りもの以上三人が一人共行婚[illegible]にて[illegible]食ず、四天王と稱ばる丈ありて何れ[illegible]一杯限り常に牛肉を好み麥飯を大[illegible]

[illegible]近き資産を擁する身分となつたが先頃愈々死ぬと言ふ時子孫を枕邊に呼び集め遺言の代りに處世の講義を[illegible]

[illegible]氏[illegible]和歌辭典編纂苦心談の中[illegible]と云ふ譯は殆んど[illegible]夏の最中を京都監獄に送つた憲政黨[illegible]妓川勝歌、抔子は愈よこの十九日二[illegible]滿了して出獄するさうだ[illegible]

[illegible]剛石輸入禁止 英國では時計とか指[illegible]輪とかに嵌入せざる金剛石の輸入方[illegible]を禁止した之は[illegible]に來て居る近日イギリス[illegible]る者であるが其一寸法師は日本人の小いのに驚き病院を[illegible]

第二艦隊旗艦鹿島—十八日午後仁川港頭にて—

海上の偉觀

仁川港頭第二艦隊の艨艟

旗艦の交歡

秋晴れの空うらゝかに仁川の海上微風だになく銀波鏡の如き十八日午後零時半名和中將の率ゆる第二艦隊旗艦鹿島を先頭次に三笠、肥前、周防の順にて堂々單縦陣をしきつゝ八尾島沖に現る、堂々山の如き巨艦の先頭には初霜、響、白雪、松風、野分の各驅逐艦黑烟を吐きつゝ進行し來る軈て午後一時頃ともなれば五隻の驅逐艇は單縦陣のまゝにて仁川港内月尾島沖に投錨し續いて一時三十分四隻の巨艦はスローにて入港港外南越丸沈船浮標の附近に

▲一齊投錨を なす、此日秋晏名殘なく晴れ渡りて軍艦日和の嬉々たる陽光は鼠色の巨艦を照らし旗艦鹿島の大檣頭には將官旗の色鮮やかなる日章旗ひるがへり港内を壓する艨艟の雄姿は壯觀言ふべからず殊に當年のワリヤーク、コレーツ艦の爆沈せる附近には有名レトウキザンの肥前とボベーダの周防投錨し今昔の感うたゝ切なるものあり午後二時半には總督附武官森海軍少將、久水仁川府尹、松本仁川警察署長、市橋郵便局長、平田觀測所長、伊東遞信局出張所長、奥田仁川商業會議所會頭、新聞記者等の訪問あり、一同艦尾の將官室にて名和第二艦隊司令長官、森山司令官、島村鹿島艦長に敬意を表し

▲三鞭の盃を 擧げて歡聲湧くが如し、殊に森山司令官は多年の瓜生艦隊參謀たりし人、奥田商業會議所會頭と共に日露戰爭當時仁川沖海戰の懷舊談盡くるを知らず、當時の珍談湧くが如く午後四時半一同旗艦を辭したり

森山司令官の懷舊談

「自分は當時瓜生艦隊の參謀であたから十年前の仁川港を追懷すると無限の感がある、今入港する時も恰度午過ぎの同時刻だつたから先頭に進む驅逐艦隊を寫眞に撮つた、あの時ワリヤーク、コレーツの爆沈したのもこの邊だが自分にとつては感慨に堪へない、又あの時佛國軍艦パスカン號の艦長セネス氏は瓜生閣下とも僕とも知己だつたが隨分露艦に味方したものだつた、今度新聞で見るとセネス氏は四年前に少將に陞進しこんど地中海で獨潜航艇の爲めに艦と共に戰死したさうだが變れば變るものである猶ほ又あの時は米國や伊太利國の軍艦なども居たが思へばよくやつたものであつた當時は日本艦隊は皆八尾島沖にゐたが何分時間が切迫したので錨を切斷したまゝ出かけたもので淺間艦の錨もいまだに引揚げられずに海底深く沈むでゐる、殊に面白かつたのは軍艦千代田の艦長は要務を帶びて旗艦に來てゐる間にワリヤーク、コレーツから撃出したからたう〳〵此の潮の速いところを端艇で艦に送つたが何時の間にか艦上にあがつて勇戰して居たのは愉快だつた……』など、仁川沖海戰の追懷談。折しも瀟洒たる將官室の兩側には左右兩側に据えられたる三吋測射砲の砲身に暖かい秋の日が光つて外には軍艦三笠の船影が堂々山の如くで其の功勳に輝く金色の菊の御紋章と色鮮やかな軍艦旗もうらゝかな秋の日に映えて艦の兩側には水雷防禦網のネットスパーが翼の如くひろがつてゐる

觀覽歡迎

既報の如く第二艦隊の鹿島、三笠、肥前、周防の四隻及び五隻の驅逐艇隊は來る二十五日仁川拔錨佐世保に向ふべくその間一般の觀覽を許す由にて猶ほ肥前、周防の二艦は引續き二十八日まで碇泊の豫定なれば一般觀覽者には毎日午前八時より同十一時半まで午後は一時より同五時までの間だけ縦覽を許すべく（但し土曜日は午前中縦覽を許さず）巨艦の碇泊地點は月尾島沖合遙かなれども昨今秋晴れの好天氣にこの歷史的感興多き巨艦四隻を觀覽するは頗る興味多き事なるべし、猶ほ巨艦の碇泊せる間には艦載水雷艇及び艦載小蒸汽、端艇等の往來織るが如く海上時ならぬ壯觀を極む、次で仁川官民よりは艦隊の勞を犒ふため淸酒五挺を寄贈したるが茲數日間の仁川港は人氣よき水族館の見物旁々軍艦見物の人々にて甚しく非常なる繁昌を來すべし

水兵入京

仁川入港中の第二艦隊の將校及び水兵一同は十九日朝より仁川發の臨時列車にて京城見物に來り引續き四日間毎日艦內四分の一の上陸にて一回約七八百名宛入京すべしと

一圓でお剩錢が來る

今日の日曜は共進會から家庭博へ

共進會に行く、そして第一號館から各部、各館を殘らず見て、鐵道館ではケーブルカーに乘つて朝鮮鐵道の全線旅行をして、審勢館では各道を普く徒歩で跋渉して、協贊會場では有ゆる歡樂の中に浸つて娛樂

こいふ娛樂を仕盡して お金が一圓で足りる、所が

釣錢が來るとは安價なる一日の行樂他に何處に此樣な處があらう、先づ共進會入場料が五錢で、鐵道館のケーブルカーが五錢、演藝館が特別三十錢、一等二十錢、二等が十五錢軍人團體は二等席に限り十錢、小供は總て半額である、それから朝鮮演劇場が特等大人十五錢、小人八錢、半席なら大人で十錢、小人で五錢、團體なら特等で大人十錢、小人五錢、半席で大人七錢、小人四錢、娛樂場は一錢均一、軍艦輪技が輪十回五錢、未だ開始されてゐぬが角力館が大人九錢、小人三錢、大曲馬が特等五十錢、一等三十錢、二等二十錢、三等十錢、軍人小兒半額、矢野動物園大人十錢、小人六錢、軍人七錢、迷路館は大人十錢、小人五錢、ジオラマ大人十錢、小人五錢、不思議館が大人十錢、小人五錢といふ割合だから並等で行けば一人成人で九十六錢あれば足りるわけだ、今相撲が無い間は九十一錢だ、若し日曜や祭日の二倍の入場料の要る日にしても一圓と一錢相撲の無い今なら九十六錢で十分若し晝間から居つゞけて夜までかゝつて演藝館の活動を見たので一圓十一錢、歸途を本社の家庭博に寄つても一圓廿錢內外若しそれ共進會見物の記念の爲に寫眞を撮らさうと思へば協贊會の廣告塔の下に寫眞館もある、手札なら七八十錢、合板なら一圓、中板で一圓五十錢で三枚揃ひ市中より餘程安い、それで方々見物してゐる間に一時間位で出來上つて速座に持つて歸れる、その費用を入れても二圓もあれば十分で辨當も食べられるのである。

旗押し立て、盛んな入場者

ぶつゞけの好天氣に十八日の共進會は相も變らぬ入場者の波を作り觀客何れの館に入つても山の如く、こゝぞ菊咲き香ふ第二號館前の花壇から水利組合大模型側協贊會何處へ行つても空いたベンチは見つからぬ程飲食店の滿員は更なり各興業物から演藝館は何時も變らぬ盛にて、柵外の賣店亦押すな〳〵の顧客で店員は天手古舞の姿、協贊會事務所側郵便局では協贊會發行の記念繪ハガキの賣行非常に盛んにて郵便局員のスタンプ押す手の休む暇も無い有樣、殊に十八日は土曜日の事とて正午過ぎからは各役所學校生徒等の來觀する者非常に多く午後三時頃早くも一萬を越えたりといふ團體としては櫻井小學校生徒の五六年生朝鮮各學校生徒始め全北の大團體水原その他の鮮人團體あり賑々しく旗押し立てゝの入場に大盛況を添へた

會場內の煙花 十九日夜の美觀

協贊會にては夜間の會場に一層の興を添ふる爲め場內及び漢陽公園にて數十發の煙花を打ち揚ることゝなしたるが打ち揚げ煙花の外連發及び仕掛煙花、水中煙花等あれば場內各所の裝飾燈と相對して一層の美觀を呈すべし當夜打揚煙火の種類は左の如し

觀留　煙に雷鳴、煙中に日の丸提灯、柳間に金魚、煙に二重塔五重塔、柳に蝶、煙に群蝶、二重山門、煙に雷鳴、柳間に彩色毬、野菊に雷鳴、煙先の露、黄菊、白菊、黄煙木付菊花、木付白菊、木付黄菊、雷鳴後の親砲、野菊先の露、柳雷日雨、夕錦、電光雷、錦に雷鳴、雷鳴に千雨、夕錦に電光雷（以上城内にて三河屋製火）、兩砲、菊花先の露、金波菊、霞錦、心菊先露、引先の變心に雷鳴、心菊二重咲、黄鹿子、海黄錦、水色滿星、菊先の露、鹿子牡丹、紅菊牡丹咲先の露、菊先の露二重咲、霞錦に電光雷、金波菊二重咲、昇り二段電光雷、昇り二段引先變化、受二段、連發一組

△仕掛煙火　號砲、カンカン色、昇り彩星後の花園

△水中の部　金魚十發、變色金魚五發

今日の演藝館

晝の部

十九日晝の演藝館の出番は中券と廣橋妓生組合にして出物及び出演者は左の如し

▲御代の榮（踊）律榮（清華）小染（同上）花子（同上）太郎（同上）玉龍（花月）花龍（花月）若子（同上）高子（同上）千成（大江戸）寶代次（同上）野丸（同上）寶代次（音羽や）政千代（同上）時男（松葉）光江（同上）文子（京駒）

▲つひのよるべ（踊）三郎（清華）政男（音羽や）若菊（花月）小牡丹（清華）

▲地方　寶代（花月）その（同上）若一（同上）九八（烏丸）蝶々（大江戸）牡丹（清華）たま（大江戸）百太郎（食道樂）三福（松翠）金太（花月）牡丹（清華）おきみ（花月）高み子（花月）一若（同上）昭丸（同上）時松（松葉）昭子（清華）三太（同上）二郎（同上）

▲廣橋組合妓生

▲無昇舞　金榮九、劉明玉、金和月、鄭蓮瑞、朱寶貝▲六花踴　黄牧花、鄭山玉、徐彩雲、河錦花、蔡綵竹▲春鶯囀　曹點紅、崔玉花

夜の部

▲活動寫眞　△ニクレール△大きな短艇△レモンノ留守番△サルレオ子島△學問好き△豫期せぬ泥棒△佛國民軍事探偵△外に活動奇觀

▲餘興　○○廣橋妓生數名が日本歌梅にも春、博多節、おれが國サーを自ら三味線を彈きながら唄ふ由

漢陽公園の煙花

尚十九日は晝夜共漢陽公園にても煙花を切揚げ會場と公園と相對して探照燈の交射と共に煙花の競揚をなす筈なれば當夜は市中會場共一層の賑合ひを呈することとならん

△晝之部　號砲、五段連發、記念物産共進會大旗、何爲發旗、工菊、黄菊、萬龍、騎馬軍人、音樂隊、龍中虎、招猫、旗持龍、玉取龍、黄柳黄白菊、紅菊、吉野奨より日光時雨の曲

△夜之部　吉野の櫻、三光後の曲、月下双龍、紅眞菊、昭錦、菊後の赤、晴夜滿開後の曲、別分別大砲、東錦（富田製）

將校歡迎會

仁川府にて艦隊將校歡迎會は二十日午後四時より水族館樓上に於て開會することゝなりたり

家庭博覽會

御夫婦連の多い事 家庭博夜會劈頭の大盛況

家庭博の評判に日々胸を躍らせながらも晝間は忙がしかつたり晝日中から夫婦連れで出て歩くのは可笑しいといつた樣な事情からツイ觀たい家庭博にも來られなかつた奥樣方その他の御婦人並びに旦那樣方のお待兼の家庭博の夜會は愈々十八日夜から開かれました、十八日の夜ではあり、天氣がいゝので電氣の光りをぱつと輝く頃から出盛る入場者には御夫婦連れの方が多く朝鮮人の方でも各階級の方が大分出掛けて來られて却つて晝間の午前中よりは多い位であつたのも豫期して居た事ではありますが洵に嬉ばしい事であると思ひます、夜會の第一日は斯くの如き盛況を以て終りました

家庭博の觀覽御注意

家庭博へ御出の節は傘とステツキはお預けを願ひます但料金は要りませぬ又お履物は靴か若くばゴム草履が便利です下駄の方は下足係の方で是非お預り致しますから

印刷所開放

觀覽者は團體組織の事

龍山印刷所では共進會の開期中休日と大祭祝日を除く外毎日午前八時から午後四時まで所內を開放して一般の觀覽を許すこととなつた、併し觀覽が個々に來られては都合が惡いから數名以上團體を組織して來て貰ひ度いとの事である

闘牛を觀る

十八日から明治町の東拓前の空地で晋州名物の闘牛があると云ふので午後二時から早速出掛けて見た、二百坪餘りの闘牛場の周圍には二重の柵があつて樋手の板塀に本日の取組『釜山號—元山號』『北漢山—馬山號』『泥峴號—鍾路號』『黄金號—大邱號』と書き付けてある、僕の入つた時は丁度釜山號と元山號の取組が終つて次の北漢山と馬山號とが睨み合つて居る最中で、暫らくすると闘牛は頭を摺り合せて闘ひ初める、牛は馬の樣に立ち上らない、それで下手に詐りに出る、それで玉椿の術はなくて頭許りで押し合ふのだから相撲が馬鹿に長びく、滿身の力を頭に罩めて敵をノシ上げる、敵も左

あしの、さはさせじと頭ふ間に角と角とが[illegible]合つて延々と長き皮は破れて[illegible]方の牛の額に血が滲むで何時しか[illegible]の闘ふ事三十分馬山と名稱[illegible]の勢ひ漸く衰へ涎を垂れて苦しい息[illegible]と見るや身を翻して遁げ出した、之れで[illegible]北漢山の勝、次に出たのが[illegible]組より一段猛烈に時々唸りを發して[illegible]ふ牛之れも三十分で鍾路が遁げ出して泥峴の勝となり數名の勢子は勝者の爲めに[illegible]旅の鮮人が歌を唄ひ且つ踊りながら[illegible]たが牛も勝つたのを嬉しく思ふ[illegible]ながら勇ましくついて歩いて居た、話に出ると此日闘牛は汽車の勞れで未だ弱つて居たらしく柵の設備が不完全であつた爲め勢子の堅接もなかつたが明日からは堅接を與へて一層猛烈に闘はさせるとの事であつた

●洗濯棒で妻を撲る　仁川府花平里七十四番地丁泰吉の妻李氏（三二）は十五日夫丁に他に情夫ある事を疑はれ温突内に於て洗濯棒を以て毆打され顔面足部に無數の打撲傷を負はされたりとは亂暴の夫なるかな

●高知縣人會　總督府技師坂出鳴海氏は近く總督府より海外視察として渡歐すべきにつき高知縣人會にては十九日午後六時より白水に同氏の送別宴を開催すべし

●妙心寺の提唱　京城妙心寺にては十九日午前九時より無藏燈の提唱ある由

▲有樂館の開館式　有樂館は愈々十九日開館式を擧行し午後五時より京城官民の重なるもの千二百餘名を招待し館與活動寫眞を觀覽に供し六時開館の式辭あつて宴に移り七時半より吉備樂及び天津一行の奇術の外嶄新なる活動寫眞ある由因に廿日よりは引き續き東京一流の辯士出演して嶄新なる活動寫眞の興行をなす由

▲黄金館　○○十八日より寫眞全部差し替へたり今回の呼物は泰西悲劇『運命の小舟』全二卷新派劇『亂れ髮』全五卷二十五齣の長尺物双方共に近來珍らしき大寫眞なりと

▲佐久良座　大阪一派市川咲笑一座は十八日より花々敷く開演したるが[illegible]評判頗るよし

京日案內

◎番外　一行前金六十錢（五行以上）[illegible]

好職業　聯合會ゴム事業傳授　五年爲共進會期中各道特に卅名に限り始政料無料傳授ス　京城大漢門前　太陽商會　567

◎鍼灸術　マッサージ　京城本町三丁目　大和町一丁目　中村牛乳所横　狭間醫院　電話一一二番　568

◎鍼灸回生堂　大和町二丁目廿六　院主[illegible]　治療院　569

◎調理師は弊店の新町　覇王　優食料理開業其他宴會の御料理[illegible]の御招きに應す　新町　江戸

◎須古醫院　永樂町商品陳列所の上　皮膚病花柳病專門　電話二一〇二番

◎御紋上繪　南山町三丁目[illegible]　黑川上繪店　571

豐州新報支局　新聞配達夫並に外交員數名至急希望者は來談　京城黄金町三丁目　電話一八四一　573

料理店旅館向き賣物　舊龍山商業見晴らし好き處延坪百　總二階附御望みの方は漢江通り十一番地三木熊之助方へ乙御來談　574

◎古着古道具類一般　右御一報次第確實に買受候　黄金町三丁目　電話二四三四　四宮商店　554

◎裁縫　實用的を主として教授す　御希望に依り生田流琴曲、池坊生花何れも隨意親切に教授す　若草町廿六番ポスト入　森裁縫所　537

◎健胃整腸散◎　下り腹一切の良劑　京城明治町一丁目　小川温知堂　521

◎入齒　吉崎文作　京城明治町一丁目五七　祝始政五年一般觀覽人に對し大割引　515

通信教授　バイオリン尺八　[illegible]　九州福岡市中島町　大日本家庭音樂會　503

恩給年金類立替　京城御成町　電話二七七番　山口屋　426

店員入用　履物商に經驗ある十年迄の者にして身元保證人ある希望者は來談あれ　京城本町一丁目マルイ　伊藤履物店　561

祝共進會開催　京城水標橋觀水洞　東興隆本店　電話二千〇七二番　552

恩給年金類立替　京城若草町壹丁目一〇六井出邸內　電話二二六三番　西村商會　427

◎朝鮮に二つ無き製造工業　主人病氣の爲め至急讓渡し度し　資金要五百圓純益月百五十圓以上　明治町二階明治湯隣　永井小間物店　545

恩給年金類立替　京城本町三丁目四十番地　電二二六一番　博多屋本店　428

◎共進會無料出入　共進會場內東頭に御指定館に御出なさい　京城寫眞館出張部　エム寫眞館（本館龍山電二一五）　539

恩給年金類立替　京城永樂町壹丁目四十四番地　商品陳列館前　電話八〇三番　江州屋　429

[illegible]翡翠[illegible]　明治町二丁目　村井商會取次　電話二三六八番　544

◎普通　一行前金三十錢（五行以上）[illegible]

◎求職　甲種商業卒業生會社に被雇度候　委細報次第參上（姓名在社）　560

◎看護婦入用　京城本町二丁目　仁化病院　556

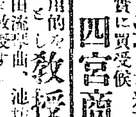
外交員入用　年齡廿五歲以上　光田洋服店　572

◎宿屋　一等一泊五十錢二等四十錢　京城本町二丁目　共進會には値格大勉强　三盛屋　565

寫眞技士　[illegible]　540

◎花柳病　御困りの諸君は一度試みられん　專門藥房京城黄金町ドラック支店　553

小兒良藥　樋屋奇應丸　專治　ひきつけ、かん、小孩失神、癲癇及む發生熱蟲等に奇効神の如し　到る處の藥店に有り　樋屋合資會社　大阪天滿橋


鐵砲は橫濱の金丸銃砲店に限る
（御註文のみ銃砲名例へば獵銃とかピストルとか空氣銃とか其他大抵の物は御申込記入御申込になれば定價表送呈）

飄の旗風（556）

番衆浪人作　筒井年峯畫

詭策（廿三）

『今日まで、猿奴に不覺の取り申した。さても無念、此度はのう』と勝家は莞爾と笑つた。

『それにつき、修理殿！』と信雄は身を乗出して。

『第一、筑前の、傀儡と爲らるゝ三法師。まづあの兒を此方の手に……』

『ホ、ウ』と勝家は聊か意外の面持で。

『我等は唯、三七殿を旗頭と仰いでぢや……』

『さ、それもとより御坐らうが、何がさて三法師は織田家の主、あの兒を秀吉手にをいては當方の不利と、岐阜の重役も申し居るぢや。』

『ム、ム、其處もある……』

『されば、岐阜にて初めの如く、籠城の致さば、筑前定めて旗を出し申さう。その時は關ヶ原邊りにて、これを迎へ討ち、追ひつ追はれつ致し居る間に、越前の兵は長濱より安土へ出で三法師を此方へ取り、一手は番場醒ヶ井、一手は御身が率ゐられて參る。外に京洛へ、直ちに筑前が邪曲を奏上……』

『如何樣それぢや。』勝家は心地快げに點頭いて。

『此度こそは勝利は必定。勝家懸命の弓矢執り申すべき旨三七殿によう申傳へ下しおかれ……』

『委細……』此處に兩將は猶も密議に時を移して、北畠信雄は勝家の書狀を持つて北の庄を立つて岐阜へ歸つた。

『何とであつた……』と待ち兼ねた信孝に急ぎ問はれて信雄は。

『上々の首尾。疾う／＼思し立たれ委細はこれに……』と彼の書狀を差出した。

『お、これへ……』と封解く／＼信孝は默讀して。

『宜い、宜い、疾う、籠城の用意……』と云ふので、此處で、改めて軍議を凝らして、城の周圍に矢來、木の根引の柵を立て、濠を深くして、日々軍馬を練り敵に備へた。

此方は北の庄の城中では、これも出師の用意、まづ兵を云はゞ其本城と云ふべき長濱に出して置いて、それ／＼準備を急いだが、今日しも、

『叔父御、態々出陣とか。』とぬつと入つたは玄蕃盛政である。

『ホ、玄蕃か知れたことぢやよ』と勝家は莞爾と笑つて。

『伊賀か怪しいとかの噂、聞かぬでも無いが、何條事や。我等出向いて面會の上、怪しい節のあらば其場を去らず、討ち捨てる分の事……』

『それよう無い、以ての外の事ぢや』と盛政は摺寄つて。

『何がさて、度々の斥候からの、あの報もある、叔父御が長濱へ行かしやるのは危い……』

『エイ、其方にも似ぬ……』と勝家は苛立つた態で。

『長濱へ行かず、直ぐに安土とも爲るまい、何がさて、伊賀奴、如何なる陰謀の企らみ居らうかは知らぬが、あの城は、北の庄の北城ぢや、それを外にして、他へ兵を入るゝ、第一が世上の批評、殊には伊賀奴、去就に決し兼ね居るとなら、却つて其逆心を煽る次第ぢや。』

『止むるナ。』

『それぢやが、叔父御……』と盛政更に何をか云ひ出でんとした時、

『殿樣……』と次間から出て來たのは日本一の美人と名に高い小谷殿、彼のお市の方であつた。

平南江東郡の鍾乳洞（承前）

○此の邊りは水蝕作用によつて洗はれた山骨が、踊々と轉がり、大小の鍾乳石が岩の天井から垂れ下つて居るさうかと思ふと下から除起して居るものもあれば又大理石で造つた柱のやうに下から岩の天井に貫いて居るものもありましたが、滑かな大な岩の肌を幾つも／＼辿るようにして、彼是十四五間も左に向つて降ると、窓を箴へる鍾乳石の尖端を滴り落つる雫が、シャツ一枚の肌に、露出した腕に頸にホロ／＼と零れて、ゾク／＼する程寒くなつて來ました、それに泥水に塗られたまゝ、幾百年も千年も、太陽に照らされないでゐる岩居は、足の感覺を失ふほど冷たく蠟燭に向つて吐く呼吸が白う明かに見えて居ます。

○あたりは森として蠟燭が淡く靜かにチョロ／＼／＼と小さな火の舌を搖がして突ッ起てる鍾乳石の柱を巨人のように暗の中に音もなう照して居ます、此處で一ト休みした後、更に探り／＼進むと、仰ぎ見るほどの岩に挾まれた四疊半程の岩が二十度位の角度まで諸に蹋まつて居ます、其れを漸う辷り降りると、天井は灯の光りの及ばぬ位高きに拘らず、身體を横にして漸く通り得る程の岩の襖に逢着しました。

○其の狹い岩の襖を拔けて五六尺下ると、此處らの岩には海綿に似た苔が生えて居て、それには白い色した百足虫がウヨ／＼と蠢いて居ます、行く手其處を氣味惡る／＼越すと、一面に漸く一尺かそこらの深さではあるが、氷のような冷たい水が鉛色に漲つて居ます。岩角を傳ふて水溜りを幾つか渡ると、燭光の屈折したり反射したりなぞするのがやまつて闇が深くなつたと思つたら、ソコには五六十疊も敷けさうな、天井も非常に高い一大洞窟があつて、一抱も二タ抱もある大理石の柱のようなものから、小さきは垂氷の如きが數知れず天井から下つて居り、又下から突起して居るものゝうちには欄干の形をなしたもの、さては佛像の積起して居るのに似た形のものもあつて、灯が點れるとそれ等の全てのものが揺いて、何だか生きあるもののやうに思はれてなりませんでした。

○科學といふものに頭腦の貧弱な私は、鍾乳石を科學的に說明する事は出來ぬが、兎も角此の處く深く大きな空洞の背は石灰岩層であつたものでせう、それが炭酸其他の酸を含有して居る水のために次第／＼に溶解されて此の大きな空洞をつくつたものと思はれます、其の石灰を溶解しつゝあつた水は、絕えず滴らふとしては洞の天井に附著して居るうちに其の水分が蒸發して、炭酸石灰を遊離したのが多くの時を經るに隨つて、乳房の形をなして垂下し、更にそれを傳ふて垂下しつゝある間に、此の巨大な柱を造りあげたものと思はれます、而し岩の間隙を潛ぐる僅かな水の水蝕作用により、之れだけの空洞と鍾乳石を造りなされたには、幾百年イヤ千年以上もかゝつたであらうと考へると、私の頭の中には現在といふものはなく、千年以上も太陽の射さない此の空洞の中に自分の呼吸して居るといふ事は、何だか太古の物語の一頁に觸れて居るやうに思はれてなりませんでした。

○白珊瑚のような白く美しく其の水の營みの新らしきものが大小幾百となく垂下（拇指大以上のものには總て中に透明な玻璃のやうな正しい管が透つて居ます）し、それが雫を滴らして居るのは今尚ほ水蝕作用を繼續して居るものと考へられますが、若しそれが事實であるとすれば今から百年千年の後には此の上ドンナに深く大きな空洞をなすかを考へると千年後の人に對して今人の記錄を殘して置いて頂き度いと思ひます

○空洞はマダ右の方にもあるが、日が暮れかけたので寒くて堪らず、碌な石をも採取し得ないで、匆々穴を這ひ上つて現世の空氣に肺を脹らした時は、脚下の山裾に夕霧が幕を張たやうに刷かれて居ました（完）

大阪株式特電

十八日後場

合同紡績	五〇〇	九月限
鐘淵紡績	一八、二〇	十月限
同新株	九三、〇〇	十一月限
東洋紡績	六五、五〇	
大阪商船	七六、三〇	
日本郵船		

九月限	二一〇、〇〇	二一〇、四〇
十月限	二一〇、七〇	二一〇、八〇
十一月限	二一三、二〇	二一三、三〇
十二月限	二一四、七〇	二一四、四〇

下關期米

▲十八日後場（前場利喰下造より）

▲後場小波瀾

前場強硬の機先を行したる今市の掛引に付き前島派は〔以下判読困難〕

十八日の十一月限

寄附

八圓八十七錢

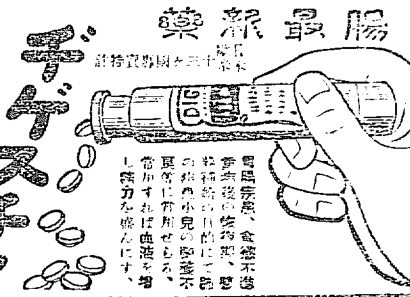
賣買出來高

九月限　千四百石

十月限　七千二百五十石

金の世の中、總ての事も金次第で全く金程有難いものは無い、其の金を儲ける可き六千萬同胞は残らず何人も聞はず 大日本國産獎勵會へ申込めば金儲成功案内を無代進呈

柔道部御用達
手刺專門 改良柔道衣
刺子問屋 柔道衣製作所 酒井一朗
東京府下巣鴨村二〇五〇 振替口座一三〇二三番 電略（二）又八（ロオ）

胃腸最新藥 ヂゲスチン

胃腸病、食慾不進、病後の恢復期、哺乳期の小兒の胃腸障害の常用すれば胃腸を健全にし、消化力を盛んにす
東京本町 賣捌 京城 香遊堂合資會社 京城商會

宮内省御用達 皇后宮職 各宮家
初秋の身心を最も爽快に快活にする
レート齒磨
▲輝く程齒を皓く美しく丈夫にする齒磨
東京 平尾贊平 大阪

清酒 罐詰類 乾物類 雜穀類 海産物類 漆器類 家具類
鰹節 仕器類 箱火鉢類 膳類 綿類 茶類 東洋庵
晝具 金物類 ストーブ類 シヤベル類 履物類 荒物類 文具類
農具 紙類 花莚類 煙草類 木炭 石油 石炭
國旗提灯
仁川新町 津田兄弟屋 電話七六二番 振替京城二八九番
青島四方町十四號地 津田兄弟屋出張店

京城の共進會へ！
仁丹さへありや疲れず飽かず愉快で滿足！！

消化と毒けし 陸軍々醫總監醫學博士御方劑 仁丹
仁丹主効
腦車の暈……仁丹廿粒
頭痛目眩……仁丹五粒
水傷下痢……仁丹八粒
寢冷腹痛……仁丹十粒
悪疫豫防……仁丹五粒
悪醉宿醉……仁丹十粒
金言　勝利を得んとすれば謙遜であれ（伊藤東涯）
金言　智識は財寶にして實驗は鍵なり（西諺）